

教育事業部

(1) 単位互換事業

【事業計画の概要および実績】

<概要>

第4ステージプランにおいて、各事業について次の基本課題に取り組んでいる。「単位互換事業」は、「質への転換」として①科目の特色化、②科目内容・到達度に関する点検評価機能の構築、③単位互換科目の質的転換の打ち出しを主とした広報強化を掲げている。単位互換事業は、加盟校の特色ある科目による多様性の中で学生が学ぶ環境の提供を行っており、延べ約2,000名が参加している。

- (1) 代表的科目である京都世界遺産PBL科目について2018年度は実施から3年間を総括し、プログラム内容を向上させ参加大学・学生を拡充していく制度的整備、学生広報を行う。
- (2) 中教審による大学連携促進を目的とした単位互換に係る大学設置基準改正検討が始まっており、その動向を踏まえながら、専門委員会の下で今後の単位互換の財団方針の検討を進める。
- (3) 第5ステージの目標設定に向けて、質の高い新たな京都らしい学びの科目提供を検討する。

(1) 京都世界遺産PBL科目の安定的な運営と受講者の確保

- 1) 京都世界遺産PBL科目について2018年度「プラザ推奨科目」からTA等の学生学び合いを促進する補助金強化や科目開設期間の延長の見直しを行った。3年を実施した担当教員による科目総括等をもとに、必要な支援制度と京都世界遺産PBL科目等の支援期間の再検討を行う。
- 2) 京都世界遺産PBL科目の安定的な運営と受講者確保に対する対応策として、2017年度世界遺産所有者ヒアリング結果をもとに、大学への新規科目開設の働きかけ（明日の京都 文化遺産プラットフォームとの協働が必要）と、学生参加を促進し、開設科目数増と学生参加200名規模を目指す。

(2) 特色ある「プラザ推奨科目」の新規開設 ～単位互換を巡る大学設置基準見直しを踏まえた制度改善とあわせて

- 1) 現在、単位互換に係る大学設置基準の文科省・中教審による改正動向を踏まえながら、学生への現在の規模での多様な学習環境の提供を維持・発展することを基本に、専門委員会において第5ステージに向けた単位互換制度を検討する。
- 2) 京都世界遺産PBL科目群とあわせて、別分野での京都ならではの特色ある科目群等を設定し、多くの学生の関心を集め、単位互換による学び合いを充実させることを検討する。京都ならではの新規科目群の創設を専門委員会等で検討する。
- 3) 単位互換に関するアンケート調査にて、各大学のカリキュラム改編等の影響で「通常開講期での学外での授業参加が難しい」との意見が多数化している。各大学のポリシーや要望も踏まえながら、受講しやすい夏期集中講義や夜間や土日が中心となる開講等について前述の制度改善の中で検討する。
- 4) 上記を進める運営体制の構築も含めて検討を行う。

(3) その他

- 1) 新「プラザ推奨科目」制度の検証
- 2) 単位互換科目の評価点検（出願者有無・数、合格率、学生アンケート内容他）
- 3) 学生へのアピールに必要な大学担当者への「学び効果」などの魅力を担当者会議等でアピール
- 4) マスコミへの定期的な情報提供による対外的な単位互換と地域活性化PBLモデルをアピールする。

<実績>

1. 2018 年度単位互換科目への出願状況他について

(1) 単位互換科目への出願状況

2018 年度の単位互換事業には、加盟校から 427 科目（前年度 435 科目）の提供があった。出願数は、前期出願・後期出願あわせて、延べ 1,984 名（2017 年度 2,549 名）で、昨年度より 565 名減少した。特に、立命館大学-379、京都産業大学-74、龍谷大学-64、早稲田大学-21、京都工芸繊維大学-17、京都府立大学は-14 で出願者 0 名となった。なお増加したのは種智院大学+11、京都大学+9、同志社大学+8、京都経済短大+7 であった。減数要因は、アニメ関連等の人気講義の閉講と e ラーニング科目の計画的停止とあわせて、各大学におけるカリキュラムポリシーに基づく科目充実や単位互換履修の条件設定等の影響があるとみられる。

◇2018 年度単位互換提供科目数・出願者数・受入者数・送出者数 カッコは昨年度数

協定大学数	提供大学数		提供科目数	出願者数	前年度比 出願増減	送出・受入者 数	前年度比 送受増減
35 大学・10 短期 大学合計 45 校※	32 大・8 短 計 40 (32 大・8 短 計 40)	前期	427 (435)	1,762 (2,284)	-522 (-822)	1,633 (2,138)	-505 (-726)
		後期	※注 138 (130)	222 (265)	-43 (+2)	209 (262)	-53 (+6)
		合計	427 (435)	1,984 (2,549)	-565 (-820)	1,842 (2,400)	-558 (-720)

※短期大学部を併設しているところは其々を別カウントした。

※注 前期で科目数を確定し後期は其中で再募集をする。後期の提供科目数は再募集を行ったもの。

(2) 提供科目数について

2018 年度単位互換提供科目数は、昨年度に比べ微減となった。主な要因として 2015 年度定められた「単位互換科目提供ガイドライン」の「学則に定める科目であること」「提供する科目名や講義概要が同じものについては 1 科目のみ提供」などを各大学で踏まえた精選が行われている中で、提供科目の整理による質向上の方向性が示されている第 4 ステージプランに沿っての状況と考える。なお、2018 年度の後期募集科目は昨年度比で微増しており、前期での出願者数減によって再募集が増加したと考える。

(3) 単位互換講義の実施上の特記事項

8 月集中講義で京都市立芸術大学「音楽学特講 a」の講義日について単位互換生向けシラバスに誤りがあり、当該大学と調整して講義をビデオ撮影して正しい講義日で授業が受けられていない単位互換欠席者に視聴させレポート提出を行うこととした。昨年度 1 月でのシラバス修正上のミスであり、2019 年度シラバスの最終確定において大学が行う確認を実施する工程改善を行った。

2. 2018 年度京都世界遺産 PBL 科目の出願・実施状況と、2019 年度にむけて

(1) 2018 年度京都世界遺産 PBL の科目設置と受講者数

2015 年度に 6 大学・6 世界遺産による 7 科目からスタートした「京都世界遺産 PBL 科目」について

は
4 年目となる 2018 年度は 2017 年度と同じ大学・世界遺産所有者によって 8 科目の提供が決定し、受講登録者は 103 名（前年度 113 名）となった。単位互換全体が大幅に減少する中で受講登録者数は 3 桁、単位互換生はほぼ同数を維持した。しかし、単位互換生がいない科目も出ており、来期での加盟校への対応をする必要がある（詳細は後述）。京都世界遺産 PBL 科目に履修登録した単位互換生について、今期初で大谷、京都光華女子、京都橘が加わった。また今期復帰は種智院、佛教。一方、京都ノートルダム女子は今期無し。京都学園、京都産業、京都女子、同志社、同志社女子、立命館の学生は 4 年連続で登録があった。

◇2018 年度世界遺産 PBL 科目（8 科目）と履修登録者数

受入先世界遺産	開設大学	科目名	担当教員	受講数、 () 内単 互生下段 定員	2017 年度
上賀茂神社	京都産業大学	京都の世界遺産 PBL～上賀茂神社の魅力を学生の視点で発信する～	若松 正志	3 (2) 20	7 (6) 20
醍醐寺	京都橘大学	遺産情報演習Ⅰ＜b＞～世界遺産醍醐寺プロジェクト活動をパブリック化する試み～	小林 裕子	16 (0) 20	1 (0) 20
清水寺	立命館大学	特殊講義Ⅰ「清水寺の△△の○○（良い点）を磨け！もしくは□□（困っている点）を救え！」	宗本 晋作	14 (3) 20	20 (2) 20
醍醐寺	龍谷大学	コミュニティマネジメント特論：世界遺産と学ぶ課題発見・解決過程	笠井 賢紀	8 (4) 20	9 (3) 20
比叡山延暦寺	京都文教大学	プロジェクト科目（テーマ）「お山」の魅力を探る・伝える	手嶋 英貴	4 (3) 20	9 (3) 20
二条城	同志社大学	世界遺産 PBL 講座～価値主導型に基づく文化遺産マーケティング	多田 実	24 (4) 30	20 (1) 30
仁和寺	立命館大学	政策科学特別実習Ⅰ「京都の世界遺産 仁和寺」	桜井 政成	9 (1) 25	12 (2) 20
清水寺	立命館大学	特殊講義Ⅰ「京都の文化遺産とその保護～清水地域の防災への取り組み」	大窪 健之	25 (8) 30	24 (9) 30
				103 (25) 185	113 (26) 180

※基本は前期登録だが京都文教大学のみ後期登録。龍谷大学について他学部受講の自大学生を単位互換生。

◇大学別出願状況（単位互換生の所属大学）

受入先世界遺産	開設大学	科目開設大学	大谷大学	京都学園	京都光華	京都産業	京都女子	京都橘	種智院	同志社	同志社女	佛教大学	立命館	龍谷	合計 12 大学
上賀茂神社	京都産業大学	1				1		1		1					3

醍醐寺	京都橘大学	16													16
清水寺	立命館大学(宗本)	11				1	1				1				14
醍醐寺	龍谷大学	4	1	1									2		8
比叡山延暦寺	京都文教大学	1					1		1				1		4
二条城	同志社大学	20									1	3			24
仁和寺	立命館大学	8					1								9
清水寺	立命館大学(大窪)	17			1	5	1				1				25
合 計		78	1	1	1	7	4	1	1	1	2	1	6	0	103

※「2018 年度京都世界遺産 PBL 科目（8 科目）と履修登録者数」の※と同じ。

（2）2018 年度京都世界遺産 PBL 科目の実施状況、全体講義、成果発表等について

1) 履修状況

- ・今年度では昨年度と一昨年度にあった学生による授業運営に支障あるトラブルは特にない。

2) 全体講義、成果発表会の実施について

①5/20 全体講義では基調講演の他、今回入れた過年度修了学生からの体験談は好評であった。

- ・講演「私たちはなぜ文化遺産をまもりたいのか」秋尾 沙戸子氏（ノンフィクション作家）
- ・学生体験談「これから京都世界遺産 PBL 科目を受講する皆さんへ」2 名

平原 健一郎氏（清水寺×立命館大学宗本 C 修了当時立命館大学経営学部 4 回生、現東京大学大学院 M1）、徳田 舞美氏（醍醐寺×龍谷大学笠井 C 修了当時龍谷大学社会学部 1 回生、現 4 回生）

②12/9 全体講義「成果発表会」を行った。学生発表を昨年度より 1 分伸ばして 10 分とし、昨年度と同様に審査形式ではなく世界遺産所有者による講評と学生・担当教員による相互アドバイス方式で実施した。4 年目となり発表内容に工夫がみられ短時間の中で分かりやすい発表が多くなった。今回は外部からの見学者として、京都市の他、立教大学、京都産業大学から参加があった。

3) 広報活動

①5/20 全体講義、12/9 成果発表会について京都大学記者クラブと京都市政記者クラブへリリースをおこなった。

（3）2019 年度の単位互換科目と京都世界遺産 PBL 科目の開講について

①2019 年 2 月で各大学からのシラバス確定となり、2019 年度単位互換科目は 415 科目（前年度 427 科目）を開講することとなった。

②12/9 に 2019 年度京都世界遺産 PBL 科目の開講予定担当教員会議を行った。2018 年度と同様の 6 提供大学と 6 世界遺産所有者による 8 科目で学生募集を行うこととなった。

3. 出願者数の減少傾向の要因とその対応について

出願者数は 2014 年度 5,278 名から、2015 年度 3,615 名、2016 年度 3,369 名、2017 年度 2,749 名と近年の減少は大きい。要因として、各大学におけるカリキュラムポリシーに基づく科目充実や単位互換履修の条件設定等の影響の他、新学部・新学科設置において現状の単位互換制度が文部科学省の設置時指導において認められていないことがある。これは文部科学省が質保証との関係で単位互換は大学間で学則に基づく同種類の科目同士 1 科目対 1 科目であることが基本である、という考えを近年の指導方針と

していたことによる。これについて、本財団としては 2014 年度、2016 年度と文部科学省へ考え方の問い合わせを行い、2018 年度は中教審「将来構想部会」で、大学連携の促進のために行われた単位互換の考え方の再検討に係り、本財団の単位互換事業の積極性を説明するなどの働きかけを行っている。その後、中教審が 11 月末にまとめた将来構想には、コンソーシアム等による複数大学間での単位互換について、1 科目対 1 科目で対応すること以外を認めないという原則的な考えから、協定で単位互換のルール化がされており、この度中教審で例示された単位認定基準に沿ったものであれば、1 科目対 1 科目の関係でなくとも単位認定を行えるという、従来の本財団が実施してきた単位互換とほぼ同じ考え方を含めた設置基準の解釈が明示された。今後、第 5 ステージプランの開始となる 2019 年度より、加盟校への本財団の単位互換の積極性の再認識と、加盟校に対して必要な単位認定上の手続き等の改善を求め、あらためて各大学より学生への単位互換の利用促進を依頼する。

4. 第 5 ステージプランにおける単位互換事業にむけて

- (1) 単位互換への出願者減少の改善を図るため、現行の単位互換制度の大学設置基準上での問題点有無について、2016・2017 年度での文化庁地域文化創生本部事務局長への相談と、2018 年度での文部科学省高等教育局から出向の京都市大学政策部長と打合せした。その結果、現在の財団の単位互換制度は設置基準上の主旨との関係で問題ないという認識をもち、8 月に文部科学省への相談等を行ったところ、文部科学省から 10 月に、中教審「将来構想部会」で検討している単位互換の新たな方針において特段問題ないことの回答があった。中教審は答申を 11 月末に行っている。これを踏まえ、2019 年度より加盟校に必要な制度改善と学生への積極的な履修促進をすすめる取り組みを行う。
- (2) 京都世界遺産 PBL 科目と両輪となる京都ならではの PBL 科目（2020 年度開講）を実施する。7 月より①京都鉄道博物館（JR 西日本）、②京都水族館（オリックス）、③京都市動物園、④京都国際マンガミュージアム、⑤京都市美術館、⑥京都府植物園に受入の可能性について打診・訪問（京都市同行含む）し、①②③④から内諾を得、⑤3 月時点で前向きに検討いただいている。⑥は現状では体制上対応が難しいとのことであった。2019 年度 7 月より大学へ科目提供の公募を開始し、2020 年度開講に向けた取り組みを行う。あわせて、京都世界遺産 PBL 科目に新規参加する大学公募も行う。

【実施スケジュール（主要事項）】

3 月 23 日～4 月 12 日	単位互換科目出願期間
4 月 20 日（金）	単位互換全履修可否通知メール自動配信
5 月 12 日（土）	京都世界遺産 PBL 科目インタビュートレーニング講座
5 月 20 日（日）	京都世界遺産 PBL 科目 全体講義
6 月 29 日（金）	第 1 回教育事業企画検討委員会
7 月 13 日（金）	第 1 回単位互換・京カレッジ事務局担当者会議
7 月 28 日（金）～	単位互換・京カレッジ科目の試験・レポート提出日
7 月 28 日～8 月 3 日	前期試験・レポート提出期間（基本）
8 月 4 日～9 月 20 日	夏期集中科目開講
9 月 6 日～9 月 20 日	単位互換後期出願期間（この期間内で各大学で期間設定）
9 月 21 日（金）	後期科目開講開始

9月21日～9月27日	科目提供大学履修可否入力期間
9月28日（金）	単位互換後期 履修可否発表（am5：00～）
9月29日（土）	2018年度プラザ推奨科目の2019年度「新規・更新」「継続」申請締切
10月20日（土）	2018年度プラザ推奨科目の継続不可申請書提出の締切
10月21日（日）	京都世界遺産 PBL 科目プレゼンテーショントレーニング講座
11月6日（火）	第2回教育事業企画検討委員会
11月16日（金）	第2回単位互換・京カレッジ事務局担当者会議
12月9日（日）	「京都世界遺産 PBL 科目」全体成果発表会、科目担当教員調整会議
12月1日～1月18日	2019年度単位互換・京カレッジシラバス入力期間（約420科目）
12月24日～1月4日	冬期講義停止期間
1月12日～2月15日	単位互換学生への後期・通年科目対象アンケート
1月19日～1月20日	各大学からの科目へ付番、e 京都ラーニングシステム改編、科目確定
1月23日～1月29日	レポート提出・試験期間
2月4日（月）	一斉停電による e 京都ラーニングシステム使用不可
2月8日（金）	科目提供大学による成績通知入力締切
2月14日（木）	シラバス校正・修正期限、キャンパスプラザ教室確保（2/14）
2月20日～2月28日	e 京都ラーニングメンテナンス期間（システム使用停止）
3月上旬	世界遺産 PBL チラシ、単位互換リーフ、京都学講座学生向チラシの各大学配信
3月6日（水）	2019年度開講 単位互換科目 HP 公表
3月22日～4月12日	学生の単位互換科目履修登録（この中で各大学設定の期間で実施）

（2）生涯学習事業

【事業計画の概要および実績】

＜概要＞

第4ステージプランでの生涯学習事業（京（みやこ）カレッジ）」の課題は、大学のまちのブランド向上の視点から大学講義（正課、公開講座）の市民への提供を行っており、加盟校・機関から270以上の科目を開講し、2017年度には出願者実数において事業開始以来初の1,000名を超え、今後もシニア層増とともに受講希望者増が見込まれる。この京カレッジ生への各加盟校の教育研究活動のPRとさらなる市民への学習機会の提供を促進する。

（1）大学リレー講座と京都学講座の1日2回講義制による定員拡大を継続する。

（2）大学における社会人リカレント教育等の充実が議論されており、第5ステージに向けて、新たな高等教育利用者層への加盟校の展開を支援する方策を含めた、今後の生涯学習支援の在り方を検討する。

（1）大学間連携による新たなプログラムの提供と新たな大学間連携プログラムを通じた、財団及び加盟校の生涯学習事業の広報活動の実施

1）18才人口の減少に伴う学生の再定義に係り、社会人対象リカレント教育等の加盟校の取組みを支援することを含めた今後の生涯学習事業の在り方を検討する必要がある。それについて、専門委員会の

下、生涯学習事業企画検討会議等を開催し、リカレント教育の促進につながるよう京カレッジでの大学講義や大学リレー講座方式等を活用した大学間連携の企画検討を行う。

（２）2015 年度に実施した科目区分の再編及び、「市民教養講座開設補助費」の検証

- 1) 2016 年度より改編した「市民教養講座開設補助費」制度については京都力養成コースと教養力養成コースを対象に行い、現在まで 7 大学・団体が支援を受けている。今後、前項目にある各加盟校の社会人対象リカレント教育等の新たな目的を含めて支援の拡充を検討する。
- 2) 京都学講座は、2017 年度より市民の受講希望増に 대응するため定員を倍増し午前午後で行う改善を行っており、それを 2018 年度も継続する。学生受講枠の活用が低いと学生が京都での学び効果の向上を図る目的で学生への広報を強化する。
- 3) 「大学リレー講座」については、2017 年度は本格的実施として 11 大学 12 講義を行い、市民向け広報を強化して平均 140 名程度/回の集客に改善した。2018 年度は加盟校の特色アピールと各大学の生涯学習事業の PR の場として定着させる。今後、2017 年度から実施している現在の方式を 3 年程度継続後に総括を行い、年間テーマ設定や大学ローテーション等の改編を検討する必要がある。

<実績>

1. 2018 年度生涯学習事業京カレッジ出願状況について

（１）前期・後期出願 提供科目、出願、受講許可状況について

①4 分野（昨年度 4 分野）で大学講義・公開講座を 274 科目（昨年度 276 科目）提供する。

- 1) 大学講義（A～I） 単位修得も可能な科目（科目等履修生・聴講生）
- 2) 市民教養講座（J） 健康・芸術・文化など幅広く学べる講座
- 3) 京都力養成コース（K） 京都をより深く学べるコース
- 4) 教養力養成コース（L） フィールドワークを通じて文化力・地域力（地域人材の育成）の向上を目的としたコース ※2017 年度より

②出願者について、京都学講座が昨年度より 284 名減少となり、実数・延べ数ともにその影響を受けた。また幼保特例プログラムは開始した 2014～2015 年度は 800 名～500 名と出願者が多かったが、出願母数との関係で同プログラムへの出願は 2018 年度 160 名程度に減少している。2017 年度同様に 60～70 代が 7 割以上である。

◇2018 年度京カレッジの出願状況（前期・後期）について ※（ ）内は 2017 年度

科目提供大学数	提供科目数	出願科目数	提供科目への出願率	出願者数				出願者合計		受講許可者数
				実数		延べ数		実数	延べ数	
				前期	後期	前期	後期			
34（29）大学・短期大学 2（2）機関	274 (276)	120 前期 115 (127)	43.8％ (46.1％)	773 (1,048)	14 (7)	1,407 (1,655)	15 (24)	787 (1,055)	1,422 (1,679)	1,297 (1,315)

2. 京都学講座「京都で生まれましてん～みやこ発祥の文化～」の実施状況について

（１）特徴的な状況

- 1) 京都学講座は 2015.2016 年度の受講希望者が大幅に増加したことから、2017 年度より午前および午

後に同じ講座を実施し定員を各 250 名、合計 500 名の 2 倍で募集をしている。2018 年度出願者数は 510（昨年度 794）名で、定員を超えたが昨年度より減少した。昨年度が大政奉還 150 周年との関係で江戸初期・幕末・明治維新時のテーマが中心であり、今回は服飾・教育・歌謡等の近代以降の文化中心とした専門色が少し深めのテーマであること、京都中央郵便局における郵便物フロー変更が原因の募集ガイド送付の遅延が多発したことの影響が考えられる。

2) 2017 年度より定員拡大の中で加盟大学学生を対象にした特別受講枠（1 回毎の受講可・無料・申込不要）を、各講義で 25 名定員を設けているが、昨年度利用は毎回 1～2 名程度（放送大学生以外）であり、今期は学生向け広報として大学からの広報は継続しつつ、5/20 京都世界遺産 PBL 科目全体講義において学生にチラシ配付をした。

3) 2018 年度京カレッジ・京都学開講記念講座の実施

①2018 年 3 月 10 日（土）10：30～12：00「京を伝える女性たち～京都から世界への発信」

講師：KBS 京都アナウンサー遠藤奈美氏、海平和氏、八木透佛教大学教授

- ・最終応募者：406 名（定員 250 名として広報） ※昨年度 1000 名強。
- ・抽選を行い、第 2 講義室（メイン会場）の当選連絡：260 名、第 1 講義室（映像音声のみ）への案内：130 名を応募者に連絡した。その他として郵便料金不足や著しい遅延応募者を含め合計 406 名。
- ・当日の参加結果は、第 2 講義室 260 名（当選者 223 名（男 223、女 97）、関係者 8 名）、第 1 講義室約 61 名（男 30、女 31）の合計 321 名。メイン会場の出席率は 85.7%、映像音声会場は 46.9%。

②基本講座、実地講座について

以下のように出席者は推移した。昨年度より受講許可者が少ないため、出席者も昨年度比で少ない状況だが、毎回の基本講座への出席率平均は昨年度並みかそれを上回っている。

◇京都学講座 2018 年度実施状況について

回数	開講日 (土)	テーマ	講師 * 敬称略	出席者 午前 午後	昨年度
特別	3/10	「京を伝える女性たち～京都から世界への発信」	遠藤 奈美、 海平 和、 八木 透	321	401
1	5/19	祇園祭の山鉦巡行 ～「山・鉦・屋台行事」と京都～	橋本 章	242 201	259 257
2	6/2	今西錦司～京都北山から未知の自然へ～	岩坪 五郎 八木 透	230 173	239 243
3	6/23	ブラジャーと京都～伝統文化が息づく千年の都から、下着を通して根付いた洋装文化～	石関 亮 春名のぞみ	202 169	249 229
4	7/21	「日本最初京都画学校」の絵画教育 ～運筆・写生・模写～	田島 達也	202 155	233 230
5	9/1	小学校の誕生～学校と地域社会の関係・図画教育と工芸の関係～	和崎 光太郎 森 光彦	190 145	222 215
6	9/29	歌舞伎の誕生と京都	斉藤 利彦	185	211

				142	183
7	10/13	漫画とアニメーション（鳥獣戯画から） ～なぜ京都に国際マンガミュージアムができたのか～	吉村 和真	180 139	222 208
8	10/27	フォークの出発点を語る ～1960年代京都フォークと若者文化～	豊田 勇造 川島 智生	172 139	205 184
9	11/17	茶の湯のはじまり ～書院の茶から草庵の茶へ～	山岡 宗儋	181 153	193 181
10	12/1	京料理の源流と創作平安王朝料理	堀場 弘之	199 150	202 175
実地 1	7/14	京都フォークを歴史的建造物・五條会館で語る ～豊田勇造氏の生演奏～	豊田 勇造 川島 智生	36	44
実地 2	12/8	京料理と手をけ弁当 ～創作平安王朝料理を添えて～	堀場 弘之 小林 一彦	74	42

※2018年度確定受講者午前 262 名、午後 223 名 （2017年度午前・午後とも 280 名）

※「出席者数」に学生特別枠は含めていない

（2）2019 年度京都学講座の企画について

京都学企画検討委員会を第 1 回 7/18、第 2 回 8/3、第 3 回 9/26、第 4 回 12/11 を行い、2019 年度のテーマを「京の伝統と先端～みやこが育んだ“モノ”と“技”～」として、京都で伝統工芸から精密機械産業を取り上げることとなり、基本講座、実地講座、特別講座について講師および講義内容を決定した。

3. 大学リレー講座の実施状況について

（1）特徴的な状況

- 1) 2016 年度パイロット事業、2017 年度より現在の形で開始した。特に、京都学、宗教、歴史・文学、健康、自然科学への関心が高く、それを意識した講義テーマで 2018 年度は 10 大学 10 講座の提供で実施することになった。2018 年度新規参加は花園大学、明治国際医療大学、同志社女子大学、京都府立医科大学、京都ノートルダム女子大学であり、3 年間で 20 大学・短期大学が参加となった。
- 2) 毎回の平均受講者数は 2016 年度約 60 名、2017 年度は約 140 名、2018 年度は 210 名程度と市民への認知度が高まっており、各大学の教育研究の特徴アピールに効果的な状況となっている。また、文部科学省私立大学等改革総合支援事業補助金（タイプ 5）査定に、本講座参加がポイントとなる場合もあることから参加大学の拡がりが出てきている。

◇大学リレー講座の実施状況について

回	講座日	開講大学	テーマ	担当教員	人数
1	5/26	花園大学	ブッダの生涯とその思想	佐々木 閑	279
2	6/9	京都精華大学	現代の文学と〈物語〉の力～谷崎潤一郎・「源氏物語」・村上春樹～	西野 厚志	202
3	7/28	大谷大学	本願との出遇い ～親鸞を通して～	藤嶽 明信	155

4	8/25	龍谷大学	はじめて学ぶ日本仏教	野呂 靖	271
5	9/15	明治国際医療大学	元気で楽しく生活するための東洋医学の知恵～季節に応じた養生生活とは？～	伊藤 和憲	202
6	10/6	京都文教大学	たら、れば、まちづくり ～景観の中に京都の歴史を読む～	小林 大祐	163
7	10/20	同志社女子大学	みやこの歴史的災害 ～その地域的特質と課題～	天野 太郎	151
8	11/3	京都府立医科大学	聞く、話す、飲む ～健康のためにその仕組みを学ぶ～	竹中 洋	216
9	12/22	京都橘大学	熊野学講座2018「熊野信仰と熊野那智大社」「中世における熊野参詣」	男成 洋三 野田 泰三	244
10	1/12	京都ノートルダム女子大学	転ばぬ先の杖は、転ぶこと！？ ～これからの健康づくり～	住本 純	166

4. 2019 年度の生涯学習事業にむけて

(1) リカレント教育関係の推進

- ・第5ステージプランにおいて、特に社会人向けの大学におけるリカレント教育を推進するため、加盟校他の実施状況を調査と、財団として実施する企画等を検討する。そのため、ワーキング検討委員会の設置と、財団における2019年度の指定調査課題に取り上げて研究提案を求める。

(2) 大学リレー講座の2019年度開講について

- ・教育事業企画検討委員会、単位互換・京カレッジに関する事務担当者会議(11月)にて募集を開始し、1月に2019年度実施を決定した。2018年度と同様10大学による10講座をリレー形式で実施する。

(3) 京カレッジの2019年度開講について

- ・2019年2月で各大学からのシラバス確定となり、2019年度京カレッジ科目は257科目(前年度276科目)を開講することとなった。

5. 2019年度京カレッジ・京都学講座開講記念講座について

「京をめぐる物語の舞台としての宇治一響け！ユーフォニアムをまじえてー」(特別講師：小説家・武田綾乃氏)を3/9土に実施した。定員250名に応募総数539名(2018年406名)であり抽選を行った。なお抽選で落ちた人は音声と映像のみの第2会場での案内を行い合計335名が参加した。

【実施スケジュール(主要事項)】

4月1日～4月中旬	京カレッジ履修可否通知(各大学から出願者へ文書にて通知)
4月6日(金)	京都学講座受講許可者発送
4月19日(木)	京都学講座 受講料振込期日 受講許可者最終決定
5月19日(土)	京都学講座 実地講座抽選・結果通知発送
5月19日(土)	京都学講座開講 第1回(全10回、～1月)
5月26日(土)	京カレッジ大学リレー講座第1回(担当：花園大学)→全10回
5月～6月	京都学講座実地講座1.2可否通知、京カレッジ履修可者会員証の発行

6月2日(土)	京都学講座 第2回
6月9日(土)	京カレッジ大学リレー講座第2回(担当:京都精華大学)
6月23日(土)	京都学講座 第3回
6月29日(金)	第1回教育事業企画検討委員会
7月13日(金)	第1回単位互換・京カレッジ事務局担当者会議
7月14日(土)	京都学講座 実地講座1(五條会館・フォークソングライブ)
7月18日(水)	第1回京都学企画検討委員会
7月18日(水)	後期出願科目発表 108科目(昨年度72科目)
7月21日(土)	京都学講座 第4回
8月3日(金)	第2回京都学企画検討委員会
8月14日～8月25日	後期出願期間 ※持参出願受付 8/25 キャンパスプラザ京都
9月1日(土)	京都学講座 第5回
9月1日(土)	出願者データアップ、出願票の開講大学への送付
9月26日(水)	第3回京都学企画検討委員会
9月29日(土)	京都学講座 第6回
10月13日(土)	京都学講座 第7回
10月27日(土)	京都学講座 第8回
11月6日(火)	第2回教育事業企画検討委員会
11月16日(金)	第2回単位互換・京カレッジ事務局担当者会議
11月17日(土)	京都学講座 第9回
12月1日(土)	京都学講座 第10回(最終)
12月8日(土)	京都学講座 実地講座2(京料理六盛)
12月11日(火)	第4回京都学企画検討委員会
12月1日～1月18日	シラバス入力期間
1月中旬～	京カレッジ・京都学講座2017年度公募ニュースリリース開始
2月上旬	京カレッジポスター・チラシ・京都学リーフ配布開始(市・関連施設)、
2月14日(木)	京カレッジシラバス校正・修正締切
2月17日(日)	京カレッジ・京都学講座新聞広報(京都・読売・朝日)
2月22日(金)	京カレッジ・京都学講座開講記念講座3/9の応募締切
3月6日(水)	2018年度科目公表、募集ガイド・大学リレー講座チラシ配布開始
3月6日～3月20日	京カレッジ出願受付(3月19日～20日持参受付)
3月9日(土)	2019年度京カレッジ・京都学講座開講記念講座 (小説家 武田綾乃氏他)

【今後の主な予定】

3月27日(水)	京カレッジ出願出願票・出願者データの各大学への送付
----------	---------------------------

(3) eラーニング事業

【事業計画の概要および実績】

<概要>

単位互換事業と生涯学習事業に跨るもので、2008 年度「戦略的大学連携事業」（文部科学省補助事業）の採択から継続的に運営しているが、第 4 ステージプラン（2014～2018 年度）において、事業コストの問題からサーバー保守期限を踏まえた事業継続について判断が必要となっていた（2018 年度（文科省補助事業から 10 年）までは既存科目を引き続き提供するとしていた）。これについて、2015 年度教育事業企画検討委員会において 2016 年度以降の新規科目の募集を停止し、2016 年度の同委員会において一旦 2019 年度廃止とすること、経過措置として 2018 年度までの継続を行うこととし、2018 年度において予定どおり終了する。

あわせて、システムメンテナンスに係り、e ラーニング科目は 2019 年 3 月 31 日で一旦終了するため現在使用のオープン OS である moodl システムは付随したレポート提出、資料設置、連絡、小テスト等の機能のみの使用となる。ただし moodl システムの継続にはバージョンアップへの各種対応が必要となることから、2018 年度において判断とシステム対応を行う必要がある。また、2019 年度からの第 5 ステージプラン期間で今後の e ラーニングについてどのように検討するのか財団の方針を策定する。

<実績>

(1) e ラーニング科目の閉講

- 1) 2017 年度は京都文教短期大学による 4 科目を停止し 9 科目（京都学園大学・京都産業大学各 1、京都ノートルダム女子大学 2、京都光華女子大学 5）での開講とした。2018 年度は最終年度として、京都学園大学 1、京都光華女子大学 4 を実施し、本年度で現システムとしては完全閉講した。
- 2) 関連して学生からのシステム相談対応体制（業務委託・2 名）を 2018 年度で終了した。

(2) e 京都ラーニングシステムの改修

e ラーニング科目は 2019 年 3 月 31 日で一旦終了するため現在使用の OS である moodl システムは付随したレポート提出、資料設置、連絡、小テスト等の機能のみの使用となる。ただし今後の moodl バージョンアップの際に、必要となるセキュリティ問題他に関連したシステム全体の修理・調整への経費が割高となるため、2018 年度 8 月に e 京都ラーニングシステムについて、①moodl を切り離す、②単位互換科目履修に関する大学事務や学生の利便性を高めるの観点で修繕を行う判断を行った。システム開発は 12 月より開始し、2 月に行う年度更新にてアップした（約 250 万円）。2019 年 3 月 6 日予定通りリニューアルした e 京都ラーニングにてシラバス公開を行った。

【実施スケジュール（主要事項）】

4 月～5 月	受講登録、講義開始
6 月 29 日（金）	第 1 回教育事業企画検討委員会
7 月 13 日（金）	第 1 回単位互換・京カレッジ事務局担当者会議
11 月 6 日（火）	第 2 回教育事業企画検討委員会
11 月 16 日（金）	第 2 回単位互換・京カレッジ担当者会議
12 月～2 月 28 日	e 京都ラーニングシステムのリニューアル開発
3 月 6 日（水）	リニューアル e 京都ラーニングシステム稼働開始

(4) インターンシップ事業

【事業計画の概要および実績】

<概要>

1998年度より全国に先駆けて実施している本事業は学生の成長を目的として、単位認定を伴う大学と連携した「教育プログラム」の実施を使命に、質の高い実習を提供すべく受入先の確保に努めている。

(1) 近年の企業他による1DAYインターンの急増の中、ビジネス・パブリックコース（実習10日間以上実践型）では多様な学生の学び合いと京都地域に多い受入先等を特徴に、各加盟校と共同した戦略的な学生利用促進や、プログレスコース（5か月長期企画型）ではPBL手法による成果達成プログラムの特色を明確にした内容の改善と広報強化を進める。

(2) 2018年度の事業開始20周年を機に、プログラム修了者OBOGを「修了生サポーター」として経年的に情報交換し現役受講生への支援や卒業後進路データ把握、および新規受入先開拓に繋げていく。

また加盟校への当該団体情報の周知する活動を行い優れた受入先と大学連携を促進する中で、受入プログラムの向上を図るような仕組みづくりを行う。

(3) 教育プログラムインターンへの出願が激減する中、ミスマッチによる離職問題や京都中堅企業の若手人材確保の問題から、教育プログラムへの期待も高まっている。第5ステージにむけて、大学側の動きや要望を調査し、学生への教育力が高めると同時に受入先業務改善・改革につながるものや、長期での学生達成感あるインターン等のプログラム検討を行う。

(1) ビジネス・パブリックコースの充実／プログレスコースの充実

- 1) プログラムの改善
- 2) アピール方法の改善

(2) 加盟大学との連携強化（大学間連携事業として）

- 1) 大学への出向ガイダンス、
- 2) 当財団インターンシップ受講生の単位認定について、
- 3) 幅広い加盟大学からのコーディネーター派遣を目指し依頼を継続する。

(3) インターンシップ事業推進体制見直し

- 1) 専門委員会について、加盟大学とのより一層の連携や今後の財団プログラムの展開を幅広い視点から議論する体制をとるための委員会構成等を検討する。具体的には、受入先企業の参画の継続及び増員の検討や、さらに幅広い加盟大学からの参画の検討を行う。

(4) 特色化を明確にするための情報収集

- 1) 受入先企業への価値提供の1つとして、財団インターンシップ事業20周年となる2018年度から、質の高いプログラムを提供する企業等を優良受入先として表彰、公表を行い、同時にその情報を各大学へも提供する。大学との接点を作ることで受入先の意欲的な受入にもつなげる。
- 2) 事業20周年企画として、修了生サポーターによる学生への相談会の開催を検討する（開催にあたってニュースレター等の配信も実施）。毎年度開催も検討し、修了生サポーターの強固な組織化を目指す。

- 3) 学生の希望する受入先の範囲を広げるため、実習先検索サイトについて、将来的に学生向け実習状況記録写真等を活用した受入先情報の追加を可能とするシステム改善に向けた検討を始める。

<実績>

1. 運営について

(1) 募集ガイダンスの実施状況

- 1) 各大学キャンパスでの出向ガイダンス 期間：2018年3月28日～4月27日

①全体ガイダンス実施大学数：18大学、全28回参加学生数：延約3600名（2017年度 17大学 全32回 4800名）同志社（今出川、京田辺）、佛教2、京都学園（亀岡、太秦）、龍谷（深草2、大宮3、瀬田2）、京女、嵯峨美術、京都橘3、京都教育、府立大、同女（京田辺、今出川）、文教2、大谷2、

京都精華、京都産業、ノートルダム、光華、京都外国語（新規）、花園（新規）

②プログレスコースのキャリアセンター・学部事務室説明

大谷、学園、京都産業、京都女子、光華、ノートルダム、文教、佛教、龍谷

- 2) 事前説明会 4/21（土） 約150名

- 3) プログレスコース説明会・相談会 4/26（木） 約20名

(2) 出願・マッチング活動

2018年度出願・受講・受入企業状況（5/31 合否発表時）および修了状況について

コース名	学生				企業・団体		
	出願者数	実習許可者数	受講率	修了者数	登録団体数	受入団体数	受入率
ビジネス	265 (461)	173 (245)	89.8%	166 (232)	156 (156)	95 (122)	60.9% (78.2%)
パブリック		65 (96)	(74.0%)	62 (91)	37 (42)	28 (33)	75.7% (78.6%)
プログレス	21 (44)	19 (37)	90.4% (84.1%)	18 (31)	10 (15)	6 (10)	60.0% (66.7%)
合計	286 (505)	257 (378)	89.9% (74.9%)	246 (354)	203 (213)	129 (165)	63.5% (77.5%)

※（ ）内は 2017 年度実数 出願大学は 30 大学・短期大学（昨年度 30）加盟・非加盟あわせて。

(3) 実施状況、合否発表後学生辞退・受入先トラブル調整他

- ・ビジネス・パブリックコース講義 7/7（第 10～13 講）が豪雨のため休講となり、7/13（金）、14（土）、15（日）で講義内容を一部変更して補講を行い、不足時間分を事後学習 9/22 で補充して対応する。2009 年度は台風等を想定した事前学習講義の補講日をあらかじめ講義計画に設けることとした。
- ・合否発表後の辞退学生について ※なお出願時に辞退しないことを誓約しているが、以下の辞退があった。しかし昨年度と比較し半数に減った。

<ビジネス・パブリックコース>

① インターンシップ・プログラムを途中で辞退した者 5 名

- ・ゼミが重なった 1（入金前）、他インターン参加希望 1（入金後）、事前訪問時に財団説明と現場状況が異なる事態あり 1（状況から返金）、受入先担当者の突発的業務による指導内容の変化

1、レポート未提出 1

② 受入先における実習を中止となった者 1名

③ 事前学習および事後学習に合計コマ数の $1/3$ を超えて（今年度は7コマ以上）欠席した者 3名
＜プログレスコース＞

① インターンシップ・プログラムを途中で辞退した者 1名

（4）単位認定大学の拡大や大学との連携

- ・インターンシップ事業の改善について、第5ステージプランでの取り組みを推進するため、特徴ある活動を行う大学からの意見を取り入れるため、新たに企画検討委員会への委員大学の追加を検討する。

（5）コーディネーター（C0）確保と役職者の更新について

- ・ビジネス・パブリックコースは2018年度において出願者が昨年度比約6割となり、C0委嘱21名の内3名について「C0業務休み」として18名で、プログレスコースは出願者が昨年度比半数となったことからC0委嘱8名の内2名について「C0業務休み」として6名で夫々運営している。2019年度はこのような状況をあらかじめ承諾いただく形で委嘱を行うこととした。
- ・総合・チーフコーディネータの任期満了による互選を行い、現役職者の更新（2年度）を行うこととした。
- ・なお京都橘大学が2019年度よりC0派遣を検討している。

（6）第5ステージプラン、2019年度にむけたプログラム改善について

- ・プログレスコースの改善について、2018年度において例年になくC0との検討を実施し、定例C0会議とは別に5回におよぶ臨時会議、その他個別C0ヒアリングを数回行った。その結果、長期インターンの特色を学生の達成感ある魅力あるプロジェクトの提供が必要であるとして、2019年度より「長期プロジェクトコース」に名称変更し、内容も映像プレゼンテーションを含めたスキルアップ講座の追加、講義開始時間の見直し、プロジェクト記録や中間振り返り日の設定等を行っている。また、学生成長とともに受入先の社員育成・業務改善に貢献するプロジェクト設計と実施のコーディネート実施を促進することとした。
- ・あわせて現在、学生に受講させたいプロジェクトの開発と知名度の高い受入先の開拓を行っている。

（7）受入先確保（新規開拓含む）について

- ・他事業部の協力のもと12月から受入先確保活動を行い、431件に依頼し208件（2018年度200件）の登録をいただいた。
- ・特にプログレスコース（次期より「長期プロジェクトコース」に改称）において、2019年度にむけて学生知名度の高い受入先の確保とあわせて実施するプロジェクト内容での学生アピールを強化する。

（8）受入先向けの相談会について

- ① 受入先向けのプログラム相談会をこれまでの6月に加え、特に新規受入先が受入実施内容を検討し確定してく2～3月を狙い2月15日に実施した。予定を上回る30団体50名を超える受入先が参加し、ベテラン受入先と新規受入先また新規担当者との経験交流が進んだ。
- ② 優れたプログラムの受入先についての情報を加盟校に提供し、今後の加盟校での連携・協力先の検討に活用してもらう方法は2019年度で継続検討する。

（9）受講者拡大について

- ① 最近の就職活動に係る学生のインターンシップへの関心が高まっている状況から、2回生受講の拡大を目指し、各大学への2回生次での受講促進のため、1回生対象の広報の依頼を開始した。

- ②3月より翌年度4月にかけて出向ガイダンスを行っており、今回も約20大学約30回行う予定である。
大学側も1・2回生対象のインターンシップガイダンスを行うところが増加している。

2. 2018年度での20周年企画の実施について

- ①10年以上にわたり実際に受入を継続いただいた受入先36団体へ感謝状を贈呈した（2017年度末より2018年度にかけて）
②修了生OBOGと受け入れ先による2018年度プログラム修了者への進路相談会「VS社会人」を11/18日に実施し、学生30名を超える参加と、C0、受入先、企画検討委員による50名を超える参加者で実施した。

【実施スケジュール（主要事項）】

3月～4月	出向ガイダンス実施
3月下旬～4月初旬	各大学への出向ガイダンス実施
4月21日（土）	インターン全体説明会（キャンパスプラザ京都）
4月19日（木）	ビジネス・パブリックコースC0会議①
4月20日～5月9日	インターンシップ学生web登録実施期間
4月21日（土）	学生対象事前説明会・個別相談会（キャンパスプラザ）
4月24日（火）	財団職員向け出願・受付業務説明会
4月26日（木）	プログレスコース説明会、個別相談会
5月11日～12日	出願・面接、修了生アンケート結果の受入先・大学への送付
5月13日（日）～	出願票確認、受入先選考（一部）、マッチング
5月25日（金）	プログレス コーディネータ会議①、ビパ臨時総合・チーフC0会議
5月31日（木）10:00	インターンシップ・全マッチング合否結果発表
6月1日（金）	各大学 科目担当者会議
6月7日（木）	ビジネス・パブリックコース 受入担当者交流・C0会議②
6月14日（木）	プログレス・オリエンテーション
6月16日（土）	ビジネス・パブリックコース事前学習①、C0会議③（龍谷大学深草c）
6月22日（金）	インターンシップ企画検討委員会①
6月30日（土）	ビジネス・パブリックコース事前学習②、C0会議④（龍谷大学深草c）
7月5日（木）	プログレス・プロジェクトマネジメント・C0会議②
7月12日（木）	プログレス・プロジェクトマネジメント
7月13日金～15日日	ビジネス・パブリックコース事前学習③補講（龍谷大学深草c）
7月20・21日	ビジネス・パブリックコース事前学習レポート提出（キャンパスプラザ）
7月13日～10月	実習、C0中間指導、事務局お詫び等受入先訪問※プログレス11月まで
9月22日（土）	ビジネス・パブリックコース事後学習・修了式、C0会議⑥（龍大深草）
10月4日（木）	プログレスコース プロジェクトマネジメント学習
10月4日（木）	プログレスコース C0会議③
10月5日・6日	ビジネス・パブリックコース事後学習レポート提出（キャンパスプラザ）
10月17日（水）	ビジネス・パブリックコース C0成績採点提出期限

10月11日(木)	プログレスコース プロジェクトマネジメント学習
10月18日(木)	ビジネス・パブリックコース C0会議⑦ 最終
10月19日(金)	第2回インターンシップ事業企画検討委員会
11月10日(土)	プログレスコース 成果報告会・修了式
11月15日(木)	プログレスコース 学習レポート報告提出
11月20日・21日	財団職員への受入先来期確認業務説明会
11月29日(木)	プログレスコース C0会議④・受入先振り返り会
11月30日(金)	第3回インターンシップ事業企画検討委員会
12月7日(金)	第2回単位認定科目担当者会議
12月4日～1月30日	受入先登録期間(募集ガイド掲載締切 1/31)に係る企業訪問・連絡
1月下旬～2月	1回生向け2回生次受講案内他について各大学への訪問
2月15日(金)	受入先対象プログラム相談会
2月22日(金)	第4回インターンシップ事業企画検討委員会
3月中旬～	学生への情報公開、各大学への出向ガイダンス

各種委員会等の開催について

(1) 単位互換事業・生涯学習事業(京カレッジ)

① 教育事業企画検討委員会(専門委員会)

6月29日(水) 第1回(主要議題: 2019年度以降の単位互換事業・生涯学習事業の展開について)

11月6日(火) 第2回(主要議題: 2019年度単位互換事業・生涯学習事業の展開について)

※上記の基本議題の実施の他、2018年度は単位互換事業の次期計画策定に係る課題の審議・検討を行う会議または懇談会の実施を検討している。

(2) 生涯学習事業(京カレッジ)

① 生涯学習事業企画検討会議(旧: 京カレッジ企画検討会議)

主要議題: 生涯学習事業における大学連携を含めた今後の展開について

京カレッジ市民教養講座開設補助費の採択について

※第5ステージより、リカレント教育関係の検討委員会として発足することとする。

② 京都学企画検討委員会

7月18日(水) 第1回(主要議題: 2018年度京都学講座の実施状況と2019年度実施方針)

8月3日(金) 第2回(主要議題: 2018年度実施状況と2019年度京都学講座テーマ・講義案について)

9月26日(水) 第3回(主要議題: 2019年度京都学講座テーマ・各講義・講師案の調整について)

12月11日(火) 第4回(主要議題: 2019年度京都学講座テーマ・講師の決定について)

(3) インターンシップ事業

① インターンシップ事業企画検討委員会（専門委員会）

- 6月22日（金） 第1回（主要議題：2018年度 事業の目的の明確化・具体化について他）
10月19日（金） 第2回（主要議題：2019年度講義計画（シラバス）について他）
11月30日（金） 第3回（主要議題：2019年度講義計画・スケジュールについて他）
2月22日（金） 第4回（主要議題：2018年度プログラムの振り返り、2019年度運営について他）

② インターンシップ・プログラム コーディネーター会議（ビジネス・パブリック）

- 4月19日（木） 第1回（主要議題：2018年度インターンシップ・プログラム事業推進体制他）
6月 7日（木） 第2回（主要議題：事前学習の進め方について 他）
6月16日（土） 第3回（主要議題：事前学習実施に関わる連絡事項について 他）
6月30日（土） 第4回（主要議題：実習・中間指導について 他）
7月 7日（土） 第5回（主要議題：実習状況の報告について 他） ※台風による日程変更あり。
9月22日（土） 第6回（主要議題：2019年度講義計画（シラバス）について 他）
10月18日（木） 第7回（主要議題：成績評価確定、2019年度講義計画確定 他）

③ インターンシップ・プログラム コーディネーター会議（プログレス）

- 4月26日（木） 受入先合同打合せ（主要議題：2018年度受入先・コーディネーター顔合せ、説明会準備他）
5月24日（木） 第1回（主要議題：2018年度成績基準、各プログラム実施目的について 他）
6月14日（木） 受入先合同会議 第1回（主要議題：2018年度年間スケジュール 他）
7月12日（木） 第2回（主要議題：プロジェクト毎の内容確認について 他）
10月4日（木） 第3回（主要議題：プロジェクト毎の夏期休暇中の進捗状況について 他）
11月29日（木） 第4回（主要議題：成果報告会、成績評価、2019年度講義計画 他）
11月29日（木） 受入先合同会議 第2回（主要議題：年度総括、2019年度講義計画 他）

教育開発事業部

(1) FD事業

【事業計画の概要および実績】

<概要>

FD 事業については、FD 企画研究委員会の前身事業である文部科学省の戦略的大学連携支援事業や FD の義務化から約 10 年が経過し、当財団次期中長期計画の第 5 ステージプラン策定を見据え、加盟校のニーズを把握しつつ取り組んだ。

FD フォーラムを担当する「FD フォーラム企画検討委員会」および FD フォーラム以外の FD 事業を担当する「FD 企画研究委員会」の 2 委員会体制でひきつづき運営した。

◆大学執行部塾（「京都 FD 執行部塾」から名称変更）

各加盟校の学長等の大学執行部層を対象とする研修プログラムで、例年 6 月下旬に行われる当財団の会員が集まる会員総会開催日に実施している。

高等教育を取り巻く動向を踏まえ、加盟校のニーズに沿ったテーマで開催した。なお、2017 年度からの SD 義務化を受け、事務職員を包含した教職員全般を対象にしたプログラムであることがわかるよう、2018 年度から名称を「大学執行部塾」に変更した。

◆京都 FDer 塾

加盟校の FD 担当者・推進者層（Faculty Developer）を対象として実施してきたが、FDer の養成に直接的につながっているとは言い難いため、FD 企画研究委員会を対象とした勉強会に改編した。

◆FD 合同研修プログラム

従来の「新任教員 FD 合同研修 プログラム A・B」と「大学教育パワーアップセミナー」を統合し、「FD 合同研修プログラム【基礎編】」と「FD 合同研修プログラム【発展編】」に改編した。参加者数増を目指し、5 回に分けて実施した。

◆FD フォーラム

事業として今年度で 24 回目を迎え、加盟大学の情報発信を重視した運営や参加者間の交流、取り組みの振り返りを行う。また、分科会の双方向的な運営などによる相互交流やポスターセッションによる情報発信についても、引き続き重視していく。加えて、2020 年度の第 25 回開催に向けた検討も開始した。

◆高等教育情報 NAVI「教まちや」

高等教育イベント NAVI「教まちや」（以下、「教まちや」）は、加盟校をはじめとする教育機関が高等教育に関するイベント情報を収集する際のハブ機能を担うツールとして 2014 年度に開始した。（1）イベントの投稿・掲載、（2）教まちや News（ブログ機能）、（3）メールマガジンの 3 つのコンテンツがある。

<実績>

◆大学執行部塾

日時：2018 年 6 月 23 日（土）11：20～12：20

場所：キャンパスプラザ京都 2 階 第 1 会議室

テーマ：「高大接続改革のめざすもの～高等学校学習指導要領改訂をふまえて」

講師：荒瀬 克己 氏（大谷大学 文学部 教授）

参加者数：38 名（昨年度 54 名）

◆IR フォーラム （(株)リアセックとの共催事業）

日時：2018 年 7 月 29 日（日）13：00～17：00

場所：キャンパスプラザ京都 5 階 第 1 講義室

タイトル：「変革する大学！学修成果の可視化と経営データから組織と教育を変える

～IR を活用した授業改善と経営改革の相乗効果と実践～」

基調講演：「18 歳人口減少！迫られる大学経営改革の実践的方策 ～大学淘汰時代の生き残り戦略～」

小林 浩 氏（リクルート進学総研 所長、リクルート「カレッジマネジメント」編集長）

事例発表 1（経営 IR）：「経営計画を実質化するマネジメントシステムと 2 つの IR ～志願者 12 年連続増を達成するまで～」

大谷 忠彦 氏（福岡工業大学 常務理事）

事例発表 2（教育 IR）：「アクティブ・ラーニング型授業の教育効果の検証と改善 ～ジェネリックスキルの測定結果を活用した学生のタイプ別教育効果の検証から見えたこと～」

波田野 匡章 氏（明星大学 経済学部 特任教授）

パネルディスカッション：

コーディネーター／村上 正行 氏（京都外国語大学 外国語学部 教授）

参加者数：192 名（昨年度 219 名）

◆京都 FDer 塾

第 1 回

日時：2018 年 8 月 21 日（火）13：30～15：30

場所：キャンパスプラザ京都 2 階 第 2 会議室

テーマ：「学内の F D を推進するための基礎づくり」

講師：西野 毅朗 氏（京都橘大学 現代ビジネス学部 経営学科 講師）

参加者数：18 名

第 2 回

日時：2019 年 3 月 9 日（土）13：30～16：30

場所：キャンパスプラザ京都 5 階 第 1 共同研究室

テーマ：「自大学・学部・学科の教育開発の方向性を探る」

講師：西野 毅朗 氏（京都橘大学 現代ビジネス学部 経営学科 講師）

参加者数：14 名

◆FD 合同研修プログラム【基礎編】

第 1 回 FD 基礎知識・シラバス作成

日時：9 月 29 日（土）13：00～17：15

場所：キャンパスプラザ京都 2階 ホール

講師：吉貞 正流 氏（大学コンソーシアム京都 副事務局長）

耳野 健二 氏（京都産業大学 現代社会学部 教授）

浅田 瞳 氏（華頂短期大学 幼児教育学科 准教授）

岡本 信照 氏（京都外国語大学 外国語学部 教授）

参加者数：11名

第2回 授業設計・授業実践ワークショップ

日時：10月13日（土）13:00～18:00

場所：キャンパスプラザ京都 5階 第2～4 演習室

講師：阿部 一晴 氏（京都光華女子大学 キャリア形成学部 教授）

参加者数：9名

第3回 成績評価のための基礎知識・ワークショップ

日時：11月12日（月）18:00～20:00

場所：池坊短期大学 洗心館6階 第1会議室

講師：藤原 学 氏（龍谷大学 理工学部 教授）

参加者数：17名

第4回 学習支援・特別支援ワークショップ

日時：2019年1月21日（月）18:00～20:00

場所：池坊短期大学 洗心館6階 第1会議室

講師：村田 淳 氏（京都大学 学生総合支援センター 准教授）

参加者数：11名

第5回 学習者中心の授業ワークショップ

日時：2019年2月4日（月）18:00～20:00

場所：池坊短期大学 洗心館6階 第1会議室

講師：澤田 美恵子 氏（京都工芸繊維大学 基盤科学系 教授）

松本 真治 氏（佛教大学 文学部 教授）

森 希理恵 氏（平安女学院大学短期大学部 保育科 准教授）

参加者数：15名

◆第24回FDフォーラム

全体テーマ：大学におけるダイバーシティ

<1日目> 日時：2019年3月2日（土）

シンポジウム1 大学に集う人々の多様性に向き合うか

場 所：立命館大学 衣笠キャンパス IG101（以学館1号ホール）

シンポジスト：ウスビ・サコ 氏（京都精華大学 学長）

日高 庸晴 氏（宝塚大学 看護学部 教授）

あかた ちかこ 氏（大阪市立児童自立支援施設阿武山学園 講師）

松波 めぐみ 氏（立命館大学 生存学研究センター 研究員）

コーディネーター：山田 創平 氏（京都精華大学 人文学部 准教授）

シンポジウム 2 社会人の「学び直し」と大学教育

場 所：立命館大学 衣笠キャンパス IG102（以学館 2 号ホール）

シンポジスト：稲永 由紀 氏（筑波大学 大学研究センター 講師）

野澤 正充 氏（立教大学 副総長・立教セカンドステージ大学 副学長）

岡田 忠克 氏（関西大学 学長補佐 / 人間健康学部 教授）

平居 聡士 氏（学校法人立命館 総務部秘書課長）

指定討論者：吉貞 正流 氏（大学コンソーシアム京都 副事務局長）

コーディネーター：村上 正行 氏（京都外国語大学 外国語学部 教授）

情報交換会

場 所：立命館大学 衣笠キャンパス 諒友館食堂

<2 日目> 日時：2019 年 3 月 3 日（日）

分科会（11 分科会）

第 1 分科会：教学 IR：ケーススタディーから学ぶデータの活用方法

第 2 分科会：学部・学科教育の改革・改善をいかに進めるか

第 3 分科会：学生エンゲージメントと自立を促す支援としかけ～学生に関わる専門職の立場から～

第 4 分科会：大学地域連携を通じての学生教育

第 5 分科会：特別支援学校教員養成における主体的な学修と地域連携の在り方について

第 6 分科会：LMS（学習管理システム）を生かした教育改革

第 7 分科会：理工系コーオペ／インターンシップ教育における学生、企業人、大学教職員の協働と成長

第 8 分科会：セクシュアル・マイノリティ学生にやさしい大学づくり

第 9 分科会：生命科学部の教育のあり方を考える

第 10 分科会：アクティブ・ラーニングを推進するための検討会

— 小・中学校で行われている授業体験と大学における主体的・協働的な授業—

第 11 分科会：障がいのある学生に対する教育的支援の現状と課題

場 所：立命館大学 衣笠キャンパス 敬学館

ポスターセッション

場 所：立命館大学 衣笠キャンパス 敬学館

参加者数：693 名（昨年度参加者数：651 名）

【実施スケジュール（主要事項）】

5 月 22 日（火） 第 1 回 FD 企画研究委員会

6 月 23 日（土） 大学執行部塾

6 月 26 日（火） 第 1 回 FD フォーラム企画検討委員会

7 月 4 日（水） 第 2 回 FD 企画研究委員会

7 月 12 日（木） FD フォーラム全体テーマ・シンポジウムに関する意見交換会

7 月 29 日（日） IR フォーラム

8 月 2 日（木） 第 2 回 FD フォーラム企画検討委員会

- 8月21日（火） 京都 FDer 塾 第1回「学内のFDを推進するための基礎づくり」
第3回FD企画研究委員会
- 9月19日（水） 第3回FDフォーラム企画検討委員会
- 9月29日（土） FD合同研修プログラム【基礎編】第1回「FD基礎知識・シラバス作成」
- 10月5日（金） 第25回FDフォーラム会場校挨拶＋会場下見
- 10月13日（土） FD合同研修プログラム【基礎編】第2回「授業設計・授業実践ワークショップ」
- 10月15日（月） 第4回FDフォーラム企画検討委員会＋会場下見（立命館大学 衣笠キャンパス）
- 11月12日（月） FD合同研修プログラム【基礎編】第3回「成績評価のための基礎知識・ワークショップ」
- 12月14日（金） 第4回FD企画研究委員会
- 1月21日（月） FD合同研修プログラム【基礎編】第4回「学習支援・学生支援ワークショップ」
- 1月31日（木） 第5回FDフォーラム企画検討委員会
- 2月4日（月） FD合同研修プログラム【基礎編】第5回「学習者中心の授業ワークショップ」
- 3月2日（土） 第24回FDフォーラム
～3日（日）
- 3月9日（土） 京都 FDer 塾 第2回「自大学・学部・学科の教育開発の方向性を探る」
- 3月27日（水） 第5回FD企画研究委員会
- 3月28日（木） 第6回FDフォーラム企画検討委員会

（2）SD事業

【事業計画の概要および実績】

<概要>

◆大学職員共同研修プログラム

社会人としての基礎知識から大学職員としての汎用的なスキルを修得できる場として提供し、職務遂行能力向上に寄与する。2014～2017年度の4ヵ年プログラムが終了し、これまでの能力・スキル向上型研修に「基礎知識獲得型」研修を加えて、2018～2020年度にかけて新たに3ヵ年のプログラムを計画した。シラバスの体系的な提示により、受講生に研修の狙いや獲得目標を分かりやすく伝える工夫を図った。

◆SDゼミナール

実施4年目となり、過去3年間実施してきた内容や受講生アンケート結果を参考に、応募条件や人数、開講形態、内容等を見直し、プログラムの充実を図った。

◆SDフォーラム

高等教育の動向を踏まえた先進事例紹介や外部有識者の知識やノウハウを獲得する場として提供し、新たな知見修得や人的ネットワークの構築に寄与する。2017年度よりSDの義務化に対応したSDフォーラムの実施及び各大学や他組織における類似企画との差別化を図るために、プログラム（分科会数、規模等）や運営面においてより魅力的なものとなるよう、アンケート結果等からニーズを把握し、SD研修委員会においてプログラムの充実を図った。

◆SD 研修担当者交流会

財団主催の各種 SD 研修について、これまで加盟校の人事・研修担当者の期待する研修内容を把握する取組が弱かった点を改善するため、人事・研修担当者を対象とする説明会や意見交換の場を設定して、情報収集に努めた。

◆SD ガイドブック

隔年で更新しており、今年度は 2019 年度版を発行した。加盟校の人事・研修担当者を対象にアンケート調査を実施し、ニーズを踏まえて充実したものとする。

<実績>

◆大学職員共同研修プログラム

(1) ビジネスマナー研修<基礎編>

日 時：2018 年 3 月 22 日（木）、3 月 29 日（木）、5 月 22 日（火） 9：30～17：00

対 象：新任者（対象以外の方でも参加可能）

講 師：株式会社ワコールキャリアサービス コミュニケーションコンサルタント 高橋 京子 氏

参加者数：2018 年 3 月 22 日（木）11 名、3 月 29 日（木）13 名、5 月 22 日（火）8 名

(2) クレーム対応 ～失敗しないクレーム対応とは～

日 時：2018 年 8 月 3 日（金）9:30～17:00

対象(目安)：勤続 3 年以上（対象以外の方でも参加可能）

講 師：インテグラル法律事務所 弁護士 兼川 真紀 氏

参加者数：20 名

(3) 大学職員が実践する IR（入門編）

日 時：2018 年 8 月 7 日（火） 【午前の部】9：30～12：30、【午後の部】13：30～16：30

対象(目安)：勤続 3 年以上（対象以外の方でも参加可能）

講 師：甲南大学 職員、一般社団法人 大学 IR コンソーシアム IR システム運用部会 部会員
深堀 太博 氏

参加者数：【午前の部】25 名、【午後の部】23 名

(4) 大学教職員の基礎知識 ～SD の義務化に向けて～

日 時：2018 年 9 月 6 日（木）9:30～17:00

対象(目安)：新任から勤続 10 年程度の方（対象以外の方でも参加可能）

講 師：大正大学人間学部教育人間学科 教授、エンロールメント・マネジメント研究所 副所長
地域創生学部 参与 山本 雅淑 氏

参加者数：37 名

(5) ファシリテーションの基本 ～参加型の話し合いをどう実現するか？～

日 時：2018 年 9 月 11 日（火）9:30～17:00

対 象：全職員

講 師：シチズンシップ共育企画 代表 川中 大輔 氏

参加者数：10 名

◆SD ゼミナール

受講生 16 名（昨年度 18 名）

第 1 回 2018 年 6 月 2 日（土）「SD ゼミナールを受講する心構え」「修了生から受講生へ」

第 2 回 2018 年 6 月 9 日（土）「大学の歴史と制度」

第 3 回 2018 年 6 月 16 日（土）「大学と高等教育政策」「アカデミック・ライティングの基礎」

第 4 回 2018 年 6 月 23 日（土）「大学の戦略とリーダーシップ」

第 5 回 2018 年 6 月 30 日（土）「大学と高大連携・高大接続」

第 6 回 2018 年 7 月 7 日（土）「大学職員と発想力」 ※公開講座

第 7 回 2018 年 7 月 14 日（土）「大学教育の質保証に向けた教学マネジメント」

第 8 回 2018 年 7 月 21 日（土）「大学と社会」

受講生公開プレゼンテーション 2018 年 9 月 8 日（土）

修了レポート提出 2018 年 10 月 31 日（水） ※全員修了

◆第 16 回 SD フォーラム

日 時：2018 年 10 月 21 日（日）

場 所：キャンパスプラザ京都

全体テーマ：20 年後の大学について考える

参加者数：150 名（昨年度参加者数 158 名）

基調講演

テーマ：「20 年後にも必要とされる大学に向けて

～教育・研究・イノベーションを継続して生み出し続ける大学に必要な大学運営と大学職員の姿」

講師：喜久里 要 氏（早稲田大学 研究戦略センター 事務職員）

分科会

分科会 A：大学改革をめぐる今課題と未来課題

講師：風間 直樹 氏（ベネッセ i-キャリア 教育事業本部 大学営業部 部長）

分科会 B：大学にとっての破壊的イノベーションとは何か

講師：向後 千春 氏（早稲田大学人間科学学術院教授）

分科会 C：地域づくりに貢献する人材育成とは

講師：山崎 亮 氏（株式会社 studio-L 代表）

分科会 D：2040 年、大学極寒時代を生き抜く将来計画を考える

講師：岡田 雄介 氏（龍谷大学 学長室（企画推進）次長）

分科会 E：人口減少時代の大学マネジメント

講師：喜久里 要 氏（早稲田大学 研究戦略センター 事務職員）

分科会 F：20 年後の“新”大学職員

講師：SDゼミナール 2017 年度修了生

太田 寛之 氏（京都薬科大学 事務局 入試課 主事）

佐藤 誠 氏（花園大学 総務課 庶務管理担当 係長）

情報交換会

◆人事・研修担当者懇談会（2018 年 9 月実施）

日 時：2018 年 9 月 14 日（金）14：00～17：00

内 容：

（1）話題提供

テーマ：働き方改革と働きがいのある職場づくり

講 師：田中 秀樹 氏（京都学園大学経済経営学部経営学科准教授）

（2）大学コンソーシアム京都 SD 事業の紹介

（3）情報交換

テーマ：職員研修制度について～効果的な職員研修に向けて～

参加者数：11 名

◆SD 研修担当者交流会（2019 年 3 月実施）

日 時：2019 年 3 月 19 日（火）15：30～17：00

内 容：

（1）2019 年度における SD 事業および SD 研修プログラム等説明

（2）意見交流

◆その他（共催事業）

日 時：2018 年 6 月 27 日（水）15:00～17:00

場 所：キャンパスプラザ京都 2 階第 3 会議室

テーマ：「学生の消費者被害対策研修会」

主 催：同志社大学学生支援センター・京都弁護士会

共 催：大学コンソーシアム京都

対 象：大学で学生支援に係る教職員・カウンセラー等

講 師：京都弁護士会消費者サラ金被害救済センター委員会

（中島俊明弁護士、堀田康介弁護士、稲田真孝弁護士、遠藤賢弁護士）

参加者数：19 名

【実施スケジュール（主要事項）】

5 月 8 日（火） 第 1 回 SD 研修委員会

5 月 22 日（火） 大学職員共同研修プログラム「ビジネスマナー研修（基礎編）」

6 月 2 日（土） 第 1 回 SD ゼミナール、SD ゼミナール修了生フォローアップ研修

6 月 5 日（火） 第 2 回 SD 研修委員会

6 月 9 日（土） 第 2 回 SD ゼミナール

6 月 16 日（土） 第 3 回 SD ゼミナール

6 月 23 日（土） 第 4 回 SD ゼミナール

6 月 30 日（火） 第 5 回 SD ゼミナール

7 月 7 日（土） 第 6 回 SD ゼミナール

7月14日（土）	第7回SDゼミナール
7月21日（土）	第8回SDゼミナール
8月3日（金）	大学職員共同研修プログラム「クレーム対応」
8月7日（火）	大学職員共同研修プログラム「大学職員が実践するIR（入門編）」
9月6日（木）	大学職員共同研修プログラム「大学教職員の基礎知識」
9月8日（土）	SDゼミナール受講生公開プレゼンテーション
9月11日（火）	大学職員共同研修プログラム「ファシリテーションの基本」
9月11日（火）	第3回SD研修委員会
9月14日（金）	人事・研修担当者懇談会
10月21日（日）	第16回SDフォーラム
10月31日（水）	SDゼミナール修了レポート提出締切
11月13日（火）	第4回SD研修委員会
12月11日（火）	第5回SD研修委員会
2月15日（金）	第6回SD研修委員会
3月19日（火）	SD研修担当者交流会

（3）京都高大連携研究協議会事業

【事業計画の概要および実績】

<概要>

高大連携事業は、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都府私立中学高等学校連合会、京都商工会議所及び当財団の連携によって「京都高大連携研究協議会」を組織し、2003年度から取り組んでいる。高大連携教育フォーラムとキャリア教育に重点を置きつつ、事業の更なる充実に努めている。現在、国の「高大接続システム改革」の展開がなされていることから、その動向を十分に踏まえながら、各種事業展開を検討した。

◆京都高校教員交流会

公立・私立を越えて、学校運営・授業運営上の悩みを共有し解決のヒントを探り合ったり、他校の取り組みを参考にし合ったり、授業改善に向け切磋琢磨するなど、高校教員同士が交流する機会を提供した。公立・私立を越えた高校教員同士、大学コンソーシアム京都と高校教員とのネットワーク構築を目標としている。

◆高大社連携フューチャーセッション

これまで実施してきた「まるっとく」、「ワーク・ライフトーク（旧ガールズキャリアトーク）」、「高大連携フューチャーセッション」を改編し、「高大社連携フューチャーセッション」に統合した。高校生・大学生のキャリア発達を促すことを目的に、高校生・大学生・社会人といった世代、学校間を越えて交流した。

◆高大連携教育フォーラム

高校・大学間の連携・接続教育問題における国内最新動向の情報共有、事例研究や京都における取り組みの情報発信に一定の評価を得ており、毎年200名前後の参加がある。「高大接続システム改革」の動向を見据え、テーマを検討するとともに分科会構成を再点検し、高校と大学の関係者双方が集い、交流の図ることのできる企画した。

<実績>

◆京都高校教員交流会

第1回

日 時：2018年10月18日（木）18：00～20：00

場 所：キャンパスプラザ京都

テーマ：学習評価

講 師：大西 俊弘 氏（高大連携推進室員/龍谷大学理工学部准教授）

参加者数：高校教員 16 名（京都府立 4 名、京都市立 2 名、京都私立 7 名、滋賀県立 1 名、大阪私立 1 名、奈良県立 1 名）、高大連携推進室 6 名

第2回

日 時：2019年2月26日（火）18：00～20：00

場 所：キャンパスプラザ京都

講 師：長谷川 豊 氏（高大連携推進室員/京都府立大学公共政策学部准教授）

参加者数：高校教員 14 名（京都府立 5 名、京都私立 7 名、滋賀県立 1 名、奈良県立 1 名）、高大連携推進室 5 名

◆高大社連携フューチャーセッション

日 時：2018年11月3日（祝・土）11：00～16：30

場 所：キャンパスプラザ京都

テーマ：「働くと学ぶをどう繋げるか？-人間にしかできない価値とは何か-」

講 師：塚本 亮 氏（ジエールアカデミア代表取締役）

矢島 理佳 氏（(株)和える代表取締役）

コーディネーター：鮫島 輝美 氏（京都光華女子大学 健康科学部看護学科 講師）

杉岡 秀紀 氏（福知山公立大学 地域経営学部 准教授）

参加者数：39 名（高校生 11 名、大学生ファシリテーター15 名、大学生 13 名）

◆第16回高大連携教育フォーラム

日 時：2018年12月8日（土）10：00～

場 所：キャンパスプラザ京都

テーマ：いま育成すべき力は何かをともに考えるⅡ—高等学校・大学の役割—

～次期高等学校学習指導要領と高大接続の本質～

参加者数：302 名（昨年度：210 名）

基調講演：新学習指導要領は何を目指すのか

～習得・活用・探究における「主体的・対話的で深い学び」～

講師：市川 伸一 氏（東京大学大学院教育学研究科教授）

事例報告：「高校生のための学びの基礎診断」実施に向けて取り組んできたこと

～高等学校教育の質保証を目指す観点から～

講師：三浦 隆志 氏（岡山県立林野高等学校 校長）

パネル・フロアディスカッション

パネラー：市川 伸一 氏、三浦 隆志 氏、大西 俊弘 氏（高大連携推進室員/龍谷大学理工学部准教授）

コーディネーター：筒井 洋一 氏（高大連携推進室員/元京都精華大学人文学部教授）

分科会：テーマ「学びの接続を考える」

- 【第1分科会】表現技法「PBL（課題解決学習）から将来の学びを見通す入試とは？」
- 【第2分科会】数学「スムーズな高大連携、数学を楽しみ、学び続ける人を育てるとりくみを交流する」
- 【第3分科会】英語「自ら思考判断し、意見を発信する力の育成を目指して」
- 【第4分科会】理科「理科の「見方・考え方」を働かせる授業とは ～授業改善への取組～」
- 【第5分科会】国語（新設）「現代の国語」の単元を構想する～新学習指導要領を見据えた「高次の学力」を育む授業展開の可能性～」
- 【第6分科会】地歴・公民（新設）「授業を通じて身に付けさせたい資質・能力とその育成 ～共通テストと授業のつながり～」
- 【特別分科会①】アドミッション専門人材開発「第2回アドミッション・スペシャリスト能力開発研修（京都会場）」
- 【特別分科会②】高大社連携キャリア教育「高大社連携の現段階の到達点とミライ ～高校、大学それぞれの立場から～」

情報交換会

【実施スケジュール（主要事項）】

- 4月20日（金） 第1回高大連携推進室会議
- 5月18日（金） 第2回高大連携推進室会議
- 5月31日（木） 第1回拡大高大連携推進室会議
- 6月22日（金） 第3回高大連携推進室会議、第2回拡大高大連携推進室会議
- 7月5日（木） 第1回京都高大連携研究協議会運営委員会、第1回役員会（書面会議）
- 10月18日（木） 京都高校教員交流会（第1回）
- 11月3日（土） 高大社連携フューチャーセッション
- 11月22日（木） 第4回高大連携推進室会議
- 12月8日（土） 第16回高大連携教育フォーラム
- 1月22日（火） 第5回高大連携推進室会議
- 2月26日（火） 第6回高大連携推進室会議
京都高校教員交流会（第2回）
- 2月28日（木） 第3回拡大高大連携推進室会議
- 3月15日（金） 第2回京都高大連携研究協議会運営委員会
- 3月16日（土） 高大社連携フューチャーセッション 振り返り会
- 3月28日（金） 第7回高大連携推進室会議

各種委員会等の開催について

■開催報告■

(1) FD事業

① FD フォーラム企画検討委員会

- 6月26日(火) 第1回FDフォーラム企画検討委員会
- 7月12日(木) 全体テーマ・シンポジウムに関する意見交換会
- 8月2日(木) 第2回FDフォーラム企画検討委員会
- 9月19日(水) 第3回FDフォーラム企画検討委員会
- 10月15日(月) 第4回FDフォーラム企画検討委員会+会場下見(立命館大学 衣笠キャンパス)
- 1月31日(木) 第5回FDフォーラム企画検討委員会
- 3月28日(木) 第6回FDフォーラム企画検討委員会

② FD企画研究委員会

- 5月22日(火) 第1回FD企画研究委員会
- 7月4日(水) 第2回FD企画研究委員会
- 8月21日(火) 第3回FD企画研究委員会
- 12月14日(金) 第4回FD企画研究委員会
- 3月27日(水) 第5回FD企画研究委員会

(2) SD事業

③ SD研修委員会

- 5月8日(火) 第1回SD研修委員会
- 6月5日(火) 第2回SD研修委員会
- 9月11日(火) 第3回SD研修委員会
- 11月13日(火) 第4回SD研修委員会
- 12月11日(火) 第5回SD研修委員会
- 2月15日(金) 第6回SD研修委員会

(3) 京都高大連携研究協議会事業

以下の④・⑤の会議は、大学コンソーシアム京都に設置された専門委員会とは異なり、京都高大連携研究協議会に設置された委員会である。

④ 京都高大連携研究協議会 役員会

- 7月5日(木) 第1回役員会(書面会議)
- 3月中旬 第2回役員会(書面会議)

⑤ 京都高大連携研究協議会 運営委員会

- 7月5日(木) 第1回運営委員会

3 月 15 日（金） 第 2 回運営委員会

⑥ 高大連携推進室会議

4 月 20 日（金） 第 1 回高大連携推進室会議

5 月 18 日（金） 第 2 回高大連携推進室会議

5 月 31 日（木） 第 1 回拡大高大連携推進室会議

6 月 22 日（金） 第 3 回高大連携推進室会議、第 2 回拡大高大連携推進室会議

11 月 22 日（木） 第 4 回高大連携推進室会議

1 月 22 日（火） 第 5 回高大連携推進室会議

2 月 26 日（火） 第 6 回高大連携推進室会議

2 月 28 日（木） 第 3 回拡大高大連携推進室会議

3 月 28 日（金） 第 7 回高大連携推進室会議

学生支援事業部

■事業進捗■

(1) 京都学生祭典事業

【事業計画の概要および実績】

<概要>

京都学生祭典は、「大学のまち京都」を盛り上げるべく 2003 年から開催され、2018 年度で第 16 回を数える。学生で組織する京都学生祭典実行委員会は、10 月に主催する祭典当日の企画・運営だけでなく、近年では、1 年間を通じた地域交流を深めるため、精力的に活動を行っている。

2018 年度は、15 年分の活動の中で生まれた、産・学・公・地域との繋がりをさらに大切にしていき、第 20 回、30 回へと続く京都学生祭典の未来へと繋いでいくことを目指す。京都の学生に浸透したお祭りにしていくことで京都に根付き、京都中から愛される祭り、そして新たな節目になる第 20 回、30 回へ向けた一歩を踏み出し、京炎コンテンツを押し出し、より「学生のまち」へと三大祭に並ぶような地域に根差した愛される祭になることを目指す。

事務局の一翼を担う当事業部では、祭典に向けての支援に加え、1 年間の活動を学生の成長の機会として捉え、年間を通じた支援体制の整備を行う。

◆第 16 回京都学生祭典

大学の枠を越えた学生の力を結集させ、「大学のまち・学生のまち」京都の魅力を社会に発信し、京都の地域活性化に貢献するとともに、その活動を通して学生が共に成長していくことを目的に、「京都学生祭典」を京都学生祭典組織委員会の一員として共催する。

《開催日時》2018 年 10 月 7 日（日） 11 時 00 分～19 時 00 分

（※イルミネーション企画のみ 19 時 30 分まで）

《会 場》平安神宮前・岡崎プロムナード（京都市左京区）

《テ ー マ》「きょうを繋ぐ」

《企画趣旨》京都学生祭典実行委員の日々の活動で京都中を繋ぎ、全国・世界へ京都の魅力を発信していく。さらに、15 年間の活動の中で生まれた、産・学・公・地域との繋がりを大切に、第 20 回、30 回へと続く京都学生祭典の未来へと繋いでいく。京都の学生に浸透したお祭りになることで真に京都に根付き、京都中に愛されるお祭りになるようことを目指した「KYOTO と繋ぐ」、そして、新たな節目に向けた京都の未来、京都学生祭典の未来がより良いものになることを考えた「未来と繋ぐ」の 2 つの活動目標を掲げた企画にする。

《企画内容》①京炎 そでふれ！全国おどりコンテスト ②ファッション企画 ③音楽企画 ④縁日企画⑤こども企画 ⑥みこし企画 ⑦Opening、Grand Finale 等

<実績>

【実施スケジュール（主要事項）】

2 月 20 日（火）	京都学生祭典事務局会議（第 1 回）
3 月 6 日（火）	京都学生祭典企画検討委員会（第 1 回）
3 月 14 日（水）	京都学生祭典組織委員会（第 1 回）

4月19日(木)	第16回京都学生祭典事務局会議 第2回
5月25日(金)	第16回京都学生祭典企画検討委員会 第2回
7月4日(水)	第16回京都学生祭典事務局会議 第3回
8月1日(水)	第16回京都学生祭典企画検討委員会 第3回
8月21日(火)	第16回京都学生祭典事務局会議 第4回
9月1日(土)	第16回京都学生祭典 プレイベント(1ヶ月前フェスタ)
9月6日(木)	第16回京都学生祭典企画検討委員会 第4回
9月18日(火)	第16回京都学生祭典組織委員会 第2回
10月7日(日)	第16回京都学生祭典(平安神宮前・岡崎プロムナード一帯)
10月24日(水)	第16回京都学生祭典事務局会議 第5回
11月13日(火)	第16回京都学生祭典企画検討委員会 第5回
11月20(火)	第16回京都学生祭典組織委員会 第3回
12月19日(水)	第17回京都学生祭典事務局会議 第6回
1月23日(水)	第17回京都学生祭典企画検討委員会 第1回
1月25日(金)	第17回京都学生祭典施工業者説明会
2月13日(水)	第17回京都学生祭典事務局会議 第1回
3月5日(火)	第17回京都学生祭典企画検討委員会 第2回
3月15日(金)	第17回京都学生祭典組織委員会 第1回

◆第16回京都学生祭典実行委員会研修実施一覧

開催日	テーマ	対象	講師/所属	参加者数
1月13(土)	広報Web①	広報部	株式会社上部 野中氏	5名
2月21日(水)	稟議研修	全員	学生交流事業部 遠塚谷	44名
2月24日(土)	広報Web②	広報部	株式会社上部 野中氏	5名
3月7日(水)	マネジメント研修	全員	企画検討委員長 木村光博氏	40名
3月10日(土)	プレスリリース研修	広報部	学生交流事業部 藏重	12名
3月22日(木)	スタート研修	全員	京都文教大学 森 正美教授	30名
3月23日(金)	広報(コピーライティング)	全員	森田 哲生氏	11名
3月24日(土)	広報Web③	広報部	株式会社上部 野中氏	2名
4月28日(土)	広報Web④	広報部	株式会社上部 野中氏	4名
5月19日(土)	広報Web⑤	広報部	株式会社上部 野中氏	3名
6月6日(水)	組織体制について	全員	株式会社堀場製作所 山下泰生氏	50名
6月12日(火)	新実行委員対象	新実行委員	同窓会副会長 田中翔氏	90名
6月19日(火)	木村委員長と座談会	執行部等	京都学生祭典企画検討委員長 木村光博氏	地震の影響 の為に中止

6月21日(木)	ビジネスマナー	全員	第15回 営業部長 船越	63名
7月5日(木)	広報Web⑥	広報部	株式会社上部 野中氏	1名
7月7日(土)	平安神宮研修	執行部等	平安神宮 南坊城卓英氏	大雨の為延期
8月24日(金)	コンプライアンス研修	全員	学生支援支援事業部次長 藏重	11名
9月4日(火)	中間研修	全員	京都文教大学 森 正美教授	台風のため中止
10月11日(木)	事後研修	全員	京都文教大学 森 正美教授	65名
11月9日(木)	『企画・イベント・プロモーションの考え方』研修	全員	株式会社島津アドコム 重松 洋志氏	14名

◆第17回京都学生祭典実行委員会研修実施一覧(3月26日時点)

開催日	テーマ	対象	講師/所属	参加者数
12月15日(土)	京都学生祭典 OB 研修会 (企画の考え方等)	執行部 及び中 枢	株式会社電通 藤田 卓也氏(第5回京都学生 祭典実行委員長)	17名
1月22日(火)	マネジメント研修	執行部 及び中 枢等	京都学生祭典企画検討委員長 木村 光博氏	24名
2月19、20日	つなまつ研修	一部		34人
2月21日(木)	実行委員基礎研修	全員	学生支援事業部	65人
3月8日(金)	「伝える力」研修② 「伝わりやすい話し方・態度 を知ろう」	全員	一般社団法人 京都経済同友 会 高橋大樹氏	41名
3月23日(土)	第17回京都学生祭典おどり 普及部研修	全員	第2回元実行委員会 園部氏	65名
3月27日(水)	広報部研修	広報部	一般社団法人 京都経済同友 会 高橋大樹氏	

◆第17回京都学生祭典実行委員会活動内容一覧(3月26日現時点)

開催日	活動内容	担当部	実行委員 参加者数	来場者数
12月21日(金)	京都市長訪問	3役		
12月28日(金)	FM 京都(αステーション)	実行委員長、広報部 長		

1月6日（日）	京都学生祭典初詣	全員	31名	
1月9日（水）	京都産業大学学長訪問	実行委員長、営業部長、広報部長		
1月12日（土）	安寧もちつき大会	担当部署	28名	
2月7日（木）	三条もちつき大会 @京都文化博物館	実行委員	27名	
2月8日（金）～	そでふれ訪問（各大学へ）	実行委員		
3月7日（木）	第17回京都学生祭典メインビジュアル募集開始	広報部		

◆第16回京都学生祭典実行委員会活動内容一覧（最終確定実績）

開催日	活動内容	担当部	実行委員 参加者数	来場者数
2月16日17日	香港 旧正月ナイト・パレード、ステージ出演	おどり普及部	40名	
3月10日（土）	お茶の京都博 感謝状贈呈式 出席	実行委員長		
3月18日（日）	おどり広報@伏見稲荷大社	おどり普及部	32名	
3月27日（火） 3月28日（水）	関西国際空港にて 京炎そでふれ！動画 長編PV上映 （上映時間：10時～16時） 約1時間おきにリピート			
3月31日（土）	京都さくらよさこい	おどり普及部	40名	
4月7日（土）	鴨川茶店	おどり普及部 執行部	20名	
4月8日（日）	鴨川茶店	おどり普及部	約15名	
4月14日（土）	新歓イベント@梅小路公園	全体	49名	
4月15日（日）	新歓イベント@梅小路公園	全体	41名	
4月20日（金）	ウェルカムパーティー@向島学生センター	年間交流	※留学生ミッションツアーの告知	
4月22日（日）	祭典運動会～春の陣～	全体	21名	
4月29日（日）	青少年海洋センター オープニングイベント（15回案件）	新旧4役 おどり普及部	16名	
5月	本祭企画出演者募集開始	全員		
5月13日（日）	留学生ミッションツアー	年間交流	※雨天のため中止	
6月16日（土）	おどり広報@清水寺	おどり普及部	30名	

6月24日（日）	京都ジョブパークインターンシップ見本市のオープニングに出演	おどり普及部	10名	
7月1日（日）	決起集会	全員	確認中	
7月4日（日）	フラッグツアー歓迎イベント	おどり普及部	20名	
7月	おどり広報@清水寺	おどり普及部		
7月	おどり広報地域の夏祭り	おどり普及部		
7月	祇園祭 広報活動	広報		
7月	短期ボランティアスタッフ募集開始			
7月24日（火）	三条神輿祭り	年間交流	13名	
7月27日（金）	大手筋夏の夜市	年間交流	9名	
7月29日（水）	安寧夏祭り	年間交流	42名	
8月	おどり広報地域の夏祭り	おどり普及部		
8月	本祭広報活動			
8月4日（土）	岡崎納涼祭	年間交流	12名	
8月4日（土）	梅逕エコサマーフェスタ	年間交流	41名	
8月8日（水）	伏見稲荷大社（打ち水）	年間交流	20名（留学生：4名）	
8月22日（水）	平安神宮前（打ち水）計測 ※インターンシップ生参加	年間交流	80名	
8月26日（日）	生祥夏祭り	年間交流	26名	
9月	おどり広報	おどり普及部		
9月	本祭広報活動			
9月1日	1ヵ月前フェスティバル	全員	241名	2,238人
9月5日（水）	成功祈願	全員	110名	
9月8日（土）	紫竹祭り	年間交流	17名	
9月15日（土）	岡崎レッドカーペット （16：00～30分間）	おどり普及	おどり普及部：500名 警備部20名	7万人
9月15日（土）	・イオンモール KYOTO 国際交流イベント	年間交流	・イオン企画 実行委員：43名 留学生：4名	約158名
9月16日（日）	岡崎レッドカーペット （みこし、おどり普及部）	企画運営 おどり普及	みこし：50名	
10月7日（日）	第16回京都学生祭典本祭	全員	282名	154,000人
10月14日（日）	第17回京都学生祭典 実行委員長選挙	全員	56名 （信任：48 不信任：3 投票者51名、見学者5名）	

◆第 16 回新実行委員説明会（最終確定実績）

4 月 11 日（水）	キャンパスプラザ京都	18：30～	なし
4 月 15 日（日）	キャンパスプラザ京都	10：00～	10 名
4 月 18 日（水）	キャンパスプラザ京都	18：30～	9 名
4 月 22 日（日）	キャンパスプラザ京都	10：00～	10 名
4 月 25 日（水）	キャンパスプラザ京都	18：30～	11 名
5 月 9 日（水）	キャンパスプラザ京都	18：30～	19 名
5 月 13 日（日）	キャンパスプラザ京都	10：00～	13 名
5 月 16 日（水）	キャンパスプラザ京都	18：30～	16 名
5 月 20 日（日）	キャンパスプラザ京都	10：00～	21 名
5 月 23 日（水）	キャンパスプラザ京都	18：30～	16 名
5 月 27 日（日）	キャンパスプラザ京都	10：00～	14 名
5 月 30 日（水）	キャンパスプラザ京都	18：30～	14 名
6 月 9 日（土）	キャンパスプラザ京都	18：30～	2 名
6 月 13 日（水）	キャンパスプラザ京都	18：30～	3 名
6 月 20 日（水）	キャンパスプラザ京都	18：30～	4 名
6 月 27 日（水）	キャンパスプラザ京都	18：30～	12 名

第 16 回実行委員構成人数（最終集計結果）

構成人 281 名／25 大学 0 大学院 1 短期大学 0 専修学校（昨年同月 236 名うち非加盟校 2 名）

① 加盟校 計 279 名

加盟校名	第 16 回	第 15 回	加盟校名	第 16 回	第 15 回
京都女子大学	100	104	京都文教大学	6	5
京都工芸繊維大学	2	1	京都文教短期大学	1	1
立命館大学	28	22	龍谷大学	9	15
平安女学院大学	22	7	大谷大学	3	1
同志社女子大学	19	16	京都精華大学	2	1
京都華頂大学	15	2	京都外国語大学	1	1
京都産業大学	21	27	京都橘大学	1	2
同志社大学	20	8	京都美術工芸大学	1	0
京都大学	11	8	京都府立大学	1	0
京都学園大学	6	6	京都薬科大学	3	0
京都光華女子大学	3	2	佛教大学	2	3
京都府立大学	1	0	京都医療科学大学	2	2
総数				281	236

② 非加盟校 2 名（関西外国語大学 1 名・大手前大学 1 名）

◆第 16 回おどり手構成人数（最終集計結果）

1167 名／25 大学 0 大学院 3 短期大学 0 専修学校（前年同時期 1223 名）

財団加盟校 計 1159 名

（単位：名）

加盟校名	本年度	前年度	加盟校名	本年度	前年度
京都大学	43	28	京都精華大学	8	18
京都教育大学	4	1	京都西山短期大学		
京都工芸繊維大学	3	0	京都造形芸術大学	0	2
京都市立芸術大学			京都橘大学	92	98
京都府立大学	39	13	京都ノートルダム女子大学	43	23
京都府立医科大学	1	0	京都美術工芸大学		
福知山公立大学			京都文教大学	48	42
池坊短期大学			京都文教短期大学	18	28
大谷大学	4	3	京都薬科大学	52	36
大谷大学短期大学部			種智院大学		
京都医療科学大学			成安造形大学		
京都外国語大学	1	0	同志社大学	91	122
京都外国語短期大学			同志社女子大学	106	144
京都学園大学			花園大学		
京都華頂大学	0	2	佛教大学		
華頂短期大学			平安女学院大学		
京都看護大学			平安女学院大学短期大学部		
京都経済短期大学			明治国際医療大学		
京都光華女子大学	46	53	立命館大学	122	140
京都光華女子大学短期大学部			龍谷大学	95	128
嵯峨美術大学			龍谷大学短期大学部		
嵯峨美術大学短期大学部			大阪医科大学		
京都産業大学	177	162	京都情報大学院大学		
京都女子大学	166	178	放送大学・京都学習センタ ー		

財団非加盟校 8 名（奈良女子大学 3 名、関西学院大学 1 名、日本バプテスト看護専門学校 1 名 関西外国語 1 名 京都医健専門学校 1 名 京都医療福祉専門学校 1 名）

【特記事項】

- ・第 16 回：テーマ、取組み、プレイベン等の大まかな枠組みについて 3/14 の組織委員会で承認済。
- ・第 17 回：コンセプト、年間の取組み活動、プレイベント等について 3/15 の組織委員会で承認済。

①本祭開催について

●第 16 回京都学生祭典（本祭）

- ・10/7（日）11：00～19：00@平安神宮前・岡崎プロムナード一帯
- 施工業者：株式会社島津アドコムに決定

●第 17 回京都学生祭典（本祭）（予定）

・ 10/13（日）11：00～19：00（点灯のみ 19：30）@平安神宮前・岡崎プロムナード一帯

・ 本祭委託先について 株式会社新通

（過去実績：新通の委託先企業 有限会社ロズウェル ※過去実績イナズマロックフェス）

各社見積比較一覧 ※消費税込み（8%）

企業名	第 17 回見積金額	第 16 回見積金額
株式会社 島津アドコム	¥20,412,000-	¥18,360,000-
株式会社 関広	¥20,520,000-	¥22,140,000-
株式会社 新通	¥14,018,400-	¥23,300,000-

●第 16 回京都学生祭典（プレイベント） 名称：第 16 回京都学生祭典 1 ヶ月前フェスティバル

・ 9/1（土）①第 1 回目：14：00～14：30 第 2 回目：16：00～16：30

②13：00～18：00

①寺町京極商店街会場（三条寺町～四条寺町）：フラッシュモブパレード企画

②京都国際マンガミュージアム（芝生エリア）：ステージ、ブース企画

●第 17 回京都学生祭典（プレイベント） 名称：未定

・ 1 回目：学生層獲得を目的とした企画（京都府内の施設にて地域の方と交流、商店街と交流しコラボする企画等）6 月下旬～7 月上旬

・ 2 回目：ファミリー層向け企画（イオンモール KYOTO、五条、桂川の 3 会場にて同時開催）8 月下旬～9 月中旬（※KYOTO のみ訪問済み、2 会場に関しては今後訪問予定）

②広報関係について

●第 16 回京都学生祭典

・ 9 月 29 日（土）に京都新聞朝刊に 4 面の特集記事を掲載。

→本祭当日への来場者数増と新聞の広告効果を確認するため、京都新聞の紙面に粗品引換券を掲載。本祭当日、粗品券 155 枚が、協賛企業からの物品協賛を提供する形で用意していた粗品（内訳：カップラーメン（93 個）、お米 200 g（深尾米殻：6 個）（米清 8 個）等）と引き換えられた。

→本祭で使用するバックパネル、横断幕のデザインを制作について京都造形芸術大学の学生と連携。

（※謝礼としてクオカード（5000 円分）×6 名分渡し済。）

●第 17 回京都学生祭典

・ 祭典に初めて来場する割合を 50%にする。学生の来場者の割合を 15%にする。

・ メインビジュアル制作を取組む方向。作品は公募することとし、2 月中に募集を開始し、3 月上旬の企画検討委員会、同月中旬の組織委員で経過報告、5 月開催の企画検討委員会でデザインを決定する。

・ 京都新聞特集記事の掲載する方向。

・ 新入生歓迎期の大学コンソーシアム京都加盟校への学内における広報活動の協力依頼開始。

・ 広報活動について

（1）学生応援企画：新入生の学生生活を応援、ツイッターのフォロワー数の増加を獲得するため、情報発信を行う

(2) YouTube による動画配信：映像にて配信することで祭典の魅力を伝える

(3) 対談企画：本祭に出演する京都の学生に対談企画を通じて本祭前に出演し、広報を行う。

③営業関係について

●第 16 回京都学生祭典

・パートナー交流会について

・すべてのパートナー及び関係者対象交流会開催：2018/6/29（金）参加者：（11 社：18 名 実委 50 名）

会場：みやこメッセ 大会議室 時間：17：00～19：00

・成果報告会：11/22（木）17：00～18：00 @キャンパスプラザ京都 第 2 講義室：

・感謝祭：11/22（木）18：30～20：00 @キャンパスプラザ京都 ホール 出席者：42 名

企業関係

・祭典×日清食品 コラボご当地カップラーメンリニューアル 3 月 19 日から発売開始。

→広報部のアンケート景品として、93 個渡し済（10/17 現在）

・協賛企業獲得状況

（8/29 現在）企業数：106 社（21,339,285 円） 目標数：115 社 （15 回同時期：76 社）

・個人サポーター （目標数：565 組）

（10/17 現在）・年間活動：122 組（本祭 65 組）171,500 円

・振込 :51 組 390,500 円

合計：173 組 562,000 円

・プロジェクトパートナー カゴメ株式会社（協力：京都府）京野菜カレー

価格設定：400 円 本祭当日 300 杯売上（12 万円売上） 売上は京都学生祭典の収入

●第 17 回京都学生祭典

・営業目標

(1) 協賛企業 34 社 (2) 2 社のパートナー（20 万円以上）獲得

(3) 1 社オフィシャルパートナー（100 万以上）の獲得

・協賛企業獲得状況 （3 月 5 日時点）

企業側の反応	社数
A（現時点で既に協賛希望）	0 社
B（訪問 好感触）	0 社
C（資料送付・訪問）	47 社
D（協賛不可）	48 社
アプローチ中（担当者不在 かけ直し）	62 社
物品協賛 交渉中	0 社
合計	157 社

・個人サポーター （目標数：300 組）700,000 円

・企業交流会の実施方向。

開催時期：6 月 7 日（金）または 6 月 14 日（金）予定

時間：17：00～19：30 開催場所：検討中 （候補：四条周辺またはみやこめっせ等）

- ・各スポンサープログラムの数点変更を加える。主な変更点としては、金銭ではなく、共同で事業を実施することで実行委員が学びの機会を得ることができる企業が対象となるプロジェクトパートナー（第16回の日清（株）、カゴメ（株）に相当する企業）の枠を新設。

④京炎みこし担ぎ手、短期ボランティア数

●第16回京都学生祭典

- ・本祭にてみこし担ぎ手本祭（40名参加）、短期ボランティア（176名 10/3 現時点）

●第17回京都学生祭典

- ・各イベント等にてみこし担ぎ予定

⑤公募関係

●第16回京都学生祭典

- ・新規実行委員：2018年4月～6月（※部署によって人数が集まっていない為、1ヶ月延長）
- ・本祭企画出演者募集：2018年5～8月（※ファッション企画のみ4月から開始予定）
- ・短期ボランティアスタッフ募集：2018年7～9月

⑧その他

- ・第17回実行委員長 京都産業大学 山田聡司（2回生）年間交流部所属
※投票数 51 票のうち、信任 48 票、不信任 3 票。
- ・11/20（木）組織委員会にて、第17回実行委員長及び実行委員会発足が正式承認。
- ・現在、執行部が全員決定し、第17回に向けての方針等を検討

（2）京都国際学生映画祭事業

【事業計画の概要および実績】

<概要>

京都国際学生映画祭は、学生の実行委員会が運営する日本最大規模の国際学生映画祭で、2002年（第5回）から財団が単独で主催している。2018年度においても、国内外を問わず、実行委員が広く学生作家の映像作品をコンペ形式で募集し、選考した作品を上映する第21回京都国際学生映画祭（11月27日（火）～12月2日（日）開催予定）の企画や運営、PRを1年間担っていく。

京都国際学生映画祭は、文化芸術都市であり、「学生のまち」でもある京都で、学生クリエイターの発掘や情報発信、国際交流を深める上で開催する意義は大きい。しかしながら、その映画祭を支える実行委員の慢性的な人不足が続いており、実行委員の獲得が今後の活動に左右するため、2018年度も各大学での上映会や活動説明会を通して、新規実行委員の獲得をめざす。また、実行委員の成長を促すためのサイクルの構築といった支援体制についても検討する。

<実績>

【実施スケジュール（主要事項）】

2月27日（火）	京都国際学生映画祭企画検討委員会（第4回）
2月～3月上旬	コンペ作品および新規実行員募集の案内・広報
3月16日（金）	第21回京都国際学生映画祭作品募集（～4月27日（金）まで）
4月27日（金）	第21回京都国際学生映画祭作品募集〆切

6月20日	京都国際学生映画祭企画検討委員会（第1回）
7月1日（日）～ 8月31日（金）	グランプリトロフィーデザイン公募
7月13日（金）	京阪×映画祭プレイベント プレスリリース(15時) 第21回京都国際学生映画祭本祭日程・会場決定
7月8日（日）、14日（土） 8月4日（土）	翻訳ボランティア 説明会
8月7日（火）、8日（水）	映画祭実行委員2次審査（合宿）
8月18日（土）	カモシネマ（招待上映）
9月8日（土）	京阪×映画祭プレイベント「シネマトレイン」
9月17日（月・祝）	ロケ地発見フォトコンテスト in 出町柳 募集〆切
9月19日（水）	京都国際学生映画祭企画検討委員会（第2回）
9月22日、23日	MC オーディション
10月7日（日）	京都学生祭典 PR ブース出展
10月13日（土）	京都国際映画祭 連携企画 過去入選作品上映
10月14日（日）	最終審査会
10月24日（水）	第21回京都国際学生映画祭 本祭 プレスリリース
11月7日（水）	京都国際学生映画祭企画検討委員会（第3回）
11月27日（火）～ 12月2日（日）	第21回京都国際学生映画祭
1月30日（水）	企画検討委員と大学コンソーシアム京都職員による企画検討委員会
3月6日（水）	京都国際学生映画祭企画検討委員会（第4回）

◆第21回実行委員構成人数＜最終集計結果＞

構成人数：24人 大学24 短期大学0 専修学校0 （前年度：37人 内非加盟校6人）

① 加盟校 計22人

大学・短期大学名	本年度	前年度	大学・短期大学名	本年度	前年度
京都大学	3	3	京都精華大学		1
京都大学大学院	1		京都西山短期大学		
京都教育大学			京都造形芸術大学		1
京都工芸繊維大学			京都橘大学		1
京都市立芸術大学			京都ノートルダム女子大学		
京都府立大学	1	1	京都美術工芸大学		1
京都府立医科大学			京都文教大学		
福知山公立大学			京都文教短期大学		
池坊短期大学			京都薬科大学		
大谷大学			種智院大学		
大谷大学短期大学部			成安造形大学		
京都医療科学大学			同志社大学	3	8

京都外国語大学	1	1	同志社女子大学	1	4
京都外国語短期大学			花園大学		
京都学園大学			佛教大学		
京都華頂大学			平安女学院大学		
華頂短期大学			平安女学院大学短期大学部		
京都看護大学			明治国際医療大学		
京都経済短期大学			立命館大学	2	3
京都光華女子大学			龍谷大学		1
京都光華女子大学短期大学部			龍谷大学短期大学部		
嵯峨美術大学			大阪医科大学		
嵯峨美術大学短期大学部			京都情報大学院大学		
京都産業大学	1	2	放送大学・京都学習センター		
京都女子大学	9	4			

② 非加盟校：2人 関西学院大学（2人）

【特記事項】

進捗報告（第21回）

① 本祭部

＜コンペティション課＞

- ・第21回京都国際学生映画祭プレスリリース配信（10月24日（水））
- ・第21回コンペティション作品募集にかかる要項作成
- ・最終審査員の決定

最終審査員	プロフィール
和田 淳 氏 (映像監督)	アニメーション作家、大手前大学専任講師、大阪教育大学非常勤講師、日本アニメーション協会会員。国内外の映画祭で多数受賞。
二宮 健 氏 (映画監督)	『チワワちゃん』2019年公開。『THE LIMIT OF SLEEPING BEAUTY リミット・オブ・スリーピング ビューティ』（2017年）。
廣瀬 純 (映画評論家)	龍谷大学経営学部教授。

- ・作品募集結果（1月22日現在：最終集計結果） ※ [] はアニメーション作品数

	国内	海外	総数
2018年度（第21回）受付作品数	98 [24]	490 [115] (33ヶ国)	588
2017年度（第20回）受付作品数	129 [32]	356 [84] (38ヶ国)	485
2016年度（第19回）受付作品数	167 [70]	372 [116] (41ヶ国)	539 [186]
2015年度（第18回）受付作品数	123 [31]	94 [27] (17ヶ国)	217 [58]
2014年度（第17回）受付作品数	163	187 (26か国)	350
2013年度（第16回）受付作品数	212	145 (19か国)	357

- ・入選作家の決定

部門	No	作品名	作家名	所在国
実写部門	1	『Facing Mecca』	Jan-Eric Mack	スイス
	2	『ENDLING』	Alex Schaad	ドイツ
	3	『AAMIR』	Vika Evdokimenko	アメリカ
	4	『At her own pace』	Yeo-ul Han	韓国
	5	『Little Red Riding Hood』	Lynn Oona Baur	ドイツ
	6	『The Net』	Hae-guen Jeon	韓国
	7	『The Place of Oblivion』	Fernanda Tovar	メキシコ
	8	『LIKE A GOOD KID』	Arian Vazirdaftari	イラン
アニメーション部門	9	『The Unbeaked』	Hugo GLAVIER	フランス
	10	『Flower Found! 』	Jorn Leeuwerink	オランダ
	11	『Love Me, Fear Me』	Veronica Solomon	ドイツ
	12	『ten』	Paula Konjušić	クロアチア
	13	『Mascarpone』	Jonas Riemer	ドイツ
	14	『ケアンの首達』	副島しのぶ	日本
	15	『Overrun』	Pierre Ropars, Antonin Derory, Diane Thirault, Jérémie Cottard, Matthieu Druaud, Adrien Zumbihl	フランス
	16	『Fundamental』	ShinChieh Chiu	台湾

■第 21 回京都国際学生映画祭 各賞の受賞者について

< グランプリ >

- ・実写部門：『Mascarpone』 尺：14 分 監督：Jonas Riemer

製作校：Film University Babelsberg KONRAD WOLF（ドイツ）

※最終審査員による強い要望により、当初はアニメーション部門に応募された「Mascarpone」を、アニメーション部門の作品という扱いのまま実写部門のグランプリに選出した。

- ・アニメーション部門：『Flower Found!』 尺：6 分 監督：Jorn Leeuwerink

製作校：HKU University of the Arts Utrecht（オランダ）

< 各最終審査員賞 >

【二宮健賞】

『Overrun』（アニメ） 尺：8 分 監督：Pierre Ropars, Antonin Derory, Diane Thirault, Jérémie Cottard, Matthieu Druaud, Adrien Zumbihl

製作校：Supinfocom Rubika（フランス）

【廣瀬純賞】

『The Place of Oblivion』（実写） 尺：18 分 監督：Fernanda Tovar

製作校：Centro de Capacitación Cinematográfica（メキシコ）

【和田淳賞】

『LIKE A GOOD KID』（実写） 尺：20 分 監督：Arian Vazirdaftari

製作校：Tehran University of Dramatic Arts（イラン）

【観客賞】

実写部門：『Little Red Riding Hood』 尺：8 分 監督：Lynn Oona Baur

製作校：Hamburg Media School（ドイツ）

アニメーション部門：『Flower Found!』 尺：6 分 監督：Jorn Leeuwerink

製作校：HKU University of the Arts Utrecht（オランダ）

- ・若手映画作家育成プロジェクト 2018（ndjc2018）推薦について
推薦作家がいる場合は、実行委員が推薦監督の書類を取りまとめ。その後、財団で稟議決裁ののち、ndjc 宛に発送。（6/22（金）締切）。
→昨年度グランプリ（実写部門）の加納土監督を推薦する予定だったが、多忙のため推薦は見送ることとなった。

② 広報部

<制作課>

- ・公式 Web 随時更新予定（開催概要・詳細プログラム、その他随時確定次第）
- ・各種募集チラシの作成（チラシ、ポスター、カタログ、チケット）。
- ・カタログ作成…本祭にて配布。
- ・トレーラー…公式HPアップロード済み。

<広報課>

- ・翻訳ボランティア、グランプリトロフィーデザイン募集、MC 募集
- ・Twitter、Facebook、ブログにてコンペティション作品募集、新規実行委員募集の案内
- ・外部サイト、各種情報誌掲載予定（公募ストック、ユースアクション、JAPANESE FILM2018）
- ・各大学卒業制作展への訪問、国内外芸術系大学等へ郵送

<渉外課>

- ・第 20 回協賛お礼訪問、第 21 回協賛依頼訪問実施→6 月上旬から順次実施。
- ・協賛資料 **FIX**。新規開拓を目指す。
- ・後援先 14 件依頼済み。今年度は文化庁は間に合わず後援なし。
- ・第 21 回協賛企業 計 9 社、67 万円（J:COM の協賛金 10 万円の内、5 万円分は物品協賛）

村田機械株式会社	5 万円（確定）	新規
株式会社ミラノ工務店	1 万円（確定）	継続
京都府生活協同組合連合会	1 万円（確定）	継続
京越株式会社	10 万円（確定）	新規
立命館大学大学院 映像研究科	10 万円（確定）	継続

株式会社元気な事務所	10 万円（確定）	新規
ニッシャ印刷文化振興財団	10 万円（確定）	継続
株式会社ディレクターズ・ユニブ	10 万円（確定）	継続
株式会社ジェイコムウエスト	10 万円（確定） ※内、J-COM の 5 万円分は物品協賛	継続

・プレイベントについて

京阪電車と共催で「シネマトレイン」「ロケ地発見フォトコンテスト in 出町柳」を開催。

【チラシ作成】7/9（月）入稿→7/12（木）納品

【広報計画】7/13 午後より各京阪沿線の駅へチラシ配架、ポスター、中吊り広告掲示。

【プレスリリース】7/13（金）15 時

【募集期間】「シネマトレイン」7/14（土）～8/20（月）

「ロケ地発見フォトコンテスト in 出町柳」7/14（土）～9/17（月・祝）

「シネマトレイン」実施報告

・参加者数 1 両目：11 名、2 両目：14 名、3 両目：25 名、4 両目：7 名 計 57 名（スタッフ含む）

③ その他

・平成 31 年度芸術文化振興基金 第 1 回募集 。11 月 17 日（土）に申請済み。

・平成 30 年度芸術文化振興基金 実績報告書 2 月上旬提出。

・平成 30 年度芸術文化振興基金 助成金額 744,000 円（確定）

（３）障がい学生支援事業

【事業計画の概要および実績】

<概要>

「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（「障害者差別解消法」）が 2016 年 4 月から施行されたことに伴い、各大学は障がい学生支援業務に携わる担当者の能力向上や大学の枠を超えた情報共有や連携の場が求められることとなった。これらのニーズに対応するため、京都を中心とした関西にある大学の障がい支援業務に携わる担当者による「関西障がい学生支援担当者懇談会」を開催し、今後の対応について意見交換を行う。

また、学生へは、聴覚障がい学生の授業における情報保障となるノートテイクについての理解やスキル向上を図るため、ノートテイク養成講座・パソコン（PC）テイク養成講座を開講する。

さらに、2016 年度財団指定調査課題で調査研究「大学での障害者差別解消へ向けたアクセシビリティと合理的配慮のＤＢの構築 ～障害学生支援室連携組織の設立へ向けて～」の研究成果・提言をどのような形態で財団事業に取り入れるかの検討を行う。

<実績>

◆第 21 回関西障がい学生支援担当者懇談会

《開催日時》2018 年 9 月 11 日（火）13 時 00 分～16 時 50 分（情報交換会 17：00～18：30）

《会 場》キャンパスプラザ京都（5 階第 1 講義室、第 1～5 演習室）

《企画内容》①話題提供：「障害学生支援の動向 -高等教育アクセシビリティプラットフォームの取り組み」（講師：船越高樹氏 京都大学 学生総合支援センター／高等教育アクセシビリティプラットフォーム）

②分科会：「コーディネート業務入門」「障がい学生支援マネジメント」「事例検討－①資格取得・実習」「事例検討－②生活支援」「就職支援」の5グループに分かれてそれぞれの大学が抱える諸課題や事例紹介などを踏まえて意見交換を行った。

《参加者数》51名（財団加盟校24名、非加盟校27名）

◆ノート・パソコン（PC）タイカー養成講座

《開催日時》2018年10月20日（土）13時00分～16時30分

《会場》キャンパスプラザ京都5階 第1講義室

《主催》京都市福祉ボランティアセンター、公益財団法人 大学コンソーシアム京都

《協力》特定非営利活動法人ゆに、京都市要約筆記サークルかたつむり

《参加者数》16名（財団加盟校10名、非加盟校5名、財団職員1名）

◆高校教員と大学教職員との懇談会（大学における障がい学生支援に関する懇談会）

《開催日時》2018年12月5日（水）15時00分～17時00分

《会場》キャンパスプラザ京都2階ホール

《主催》公益財団法人 大学コンソーシアム京都

《協力》京都府教育庁、京都市教育委員会

《企画内容》①話題提供：「大学における障がい学生支援の現状と課題について」（講師：土橋 恵美子 同志社大学 学生支援センター 障がい学生支援室 障がい学生支援チーフコーディネーター、村田 淳氏 京都大学 学生総合支援センター 准教授）

②グループ討議：6から8名（うち大学教職員が2, 3名）の6つのグループに分かれ、各大学から障がい学生支援の取り組み状況を紹介された後、高校教員から寄せていただいた質問に大学の教職員が答えるかたちで60分にわたって実施された。

《参加者数》42名（財団加盟校19名、非加盟校0名、高校教員23名）

◆AT Library 支援機器体験会

《開催日時》2019年2月27日（水）10時30分～11時30分

《会場》キャンパスプラザ京都（5階第二共同研究室）

《企画内容》京都大学の高等教育アクセシビリティプラットフォーム（HEAP）との共催で障がい学生支援機器の展示および説明を行った。

《参加者数》23名（財団加盟校13名、非加盟校10名）



◆第 22 回関西障がい学生支援担当者懇談会

《開催日時》2019 年 2 月 27 日（水）13 時 00 分～17 時 10 分（情報交換会 17：20～18：50）

《会 場》キャンパスプラザ京都（5 階第 1 講義室、第 1～5 演習室）

《企画内容》①話題提供：「障がい学生支援組織の立ち上げと枠組みづくり」

講師：竹下 士郎氏 梅本 直氏（京都外国語大学 障がい学生支援室）

倉家 祥子氏（大阪市立大学 大学運営本部学生支援課 学生支援担当係長）

②分科会：「入門編① A T（支援機器）の活用」「入門編②組織の立ち上げ」「小規模大学」

「発達障がい/精神障がい」「社会移行（キャリア支援）」の 5 グループに分かれてそれぞれの大学が抱える諸課題や事例紹介などを踏まえて意見交換を行った。

《参加者数》57 名（財団加盟校 27 名、非加盟校 30 名）



◆情報保障コーディネート講座【基礎編】

《開催日時》2019 年 3 月 7 日（木）14 時 30 分～17 時 00 分

《会 場》京都大学吉田キャンパス構内国際科学イノベーション棟 5F 5a/5b

《主 催》大学コンソーシアム京都、高等教育アクセシビリティプラットフォーム

《企画内容》・聴覚障害の基礎知識

- ・体制整備（サポート学生養成・謝金など）に関する事例
- ・架空事例をもとにコーディネート方法を検討
- ・支援方法（PC テイク・音声認識）の体験

《参加者数》17 名（財団加盟校 6 名、非加盟校 11 名）

※参加応募が当初より設定した定員 20 名に達していたが、3 名が急遽欠席となり、17 名の参加となった。

【実施スケジュール（主要事項）】

5 月 22 日（火）	関西障がい学生支援担当者懇談会幹事会
6 月 19 日（火）	障がい学生支援事業企画検討委員会（第 1 回）
8 月 6 日（月）	同志社大学障がい学生支援学期末懇談会（今出川キャンパス）※視察
9 月 11 日（火）	第 21 回関西障がい学生支援担当者懇談会（KSSK）
10 月 9 日（火）	立命館大学障がいがある高校生へのオープンキャンパス※視察
10 月 20 日（土）	ノート・パソコン(PC)テイクー養成講座
11 月 6 日（火）	関西障がい学生支援担当者懇談会幹事会
11 月 9 日（金）	障がい学生支援専門テーマ別セミナー【地域連携】（日本学生支援機構主催）
12 月 5 日（火）	高校教員と大学教職員との懇談会（大学における障がい学生支援に関する懇談会）

12月13日(木)	障がい学生支援事業企画検討委員会(第2回)
2月27日(水)	AT Library 支援機器体験会
2月27日(水)	第22回関西障がい学生支援担当者懇談会(KSSK)
3月7日(木)	情報保障コーディネート講座(基礎編)

各種委員会等の開催について

(1) 京都学生祭典事業

① 京都学生祭典組織委員会

3月14日(水)	主要議題：第15回決算、第16回事業方針、事業計画、当初予算ほか
9月18日(火)	主要議題：第16回本祭企画、第16回プレイベント開催報告、通年事業報告ほか
11月20日(火)	主要議題：第16回本祭開催報告、決裁見込み、第17回実行委員会発足ほか
3月15日(金)	主要議題：第16回決算報告、第17回事業方針、事業企画、当初予算ほか

② 京都学生祭典企画検討委員会

3月6日(火)	主要議題：第15回京都学生祭典決算、第16回京都学生祭典事業計画ほか
5月25日(金)	主要議題：第16回本祭業者選定、第16回本祭企画、第16回プレイベントほか
8月1日(水)	主要議題：第16回本祭企画、第16回プレイベント、第16回事業進捗ほか
9月6日(木)	主要議題：本祭企画、第16回プレイベント開催報告、二次補正予算ほか
11月13日(火)	主要議題：第16回本祭開催報告、年間事業報告、決算見込み、第17回発足ほか
1月23日(水)	主要課題：第17回コンセプト、第17回プレイベント、年間活動についてほか
3月5日(火)	主要課題：第17回コンセプト、プレイベント、各部署の進捗についてほか

③ 京都学生祭典事務局会議

2月20日(火)	主要議題：第15回京都学生祭典決算、第16回京都学生祭典事業計画ほか
4月19日(木)	主要議題：第16回本祭業者選定、本祭企画、第16回プレイベントほか
7月4日(水)	主要議題：第16回本祭企画、第16回プレイベント、補正予算ほか
8月21日(火)	主要議題：第16回本祭企画、第16回プレイベント、補正予算ほか
10月24日(水)	主要議題：第16回事業報告、決算見込み、第17回発足ほか
12月19日(水)	主要議題：第17回実施体制、第17回コンセプトほか
2月13日(水)	主要課題：第17回コンセプト、プレイベント、年間活動ほか

(2) 京都国際学生映画祭事業

① 京都国際学生映画祭企画検討委員会

6月20日(水)	第1回(主要議題：本祭・授賞式会場、企画検討委員会委員長任命、コンペ応募状況、コンペ体制、一次審査状況、企画案提出 他)
9月19日(水)	第2回(主要課題：二次審査状況、最終審査員報告、企画案提出 他)

11月7日(水)	第3回(主要課題:入選作品報告、本祭プログラム枠、広報協力依頼 他)
3月6日(水)	第4回(主要課題:第21回開催報告、第22回委員会発足、第22回コンペ募集 他)

(3) 障がい学生支援事業

① 障がい学生支援事業企画検討委員会

6月19日(火)	第1回(主要議題:委員長選出、2018年度障がい学生支援事業、KSSK開催)
12月13日(木)	第2回(主要議題:2018年度障がい学生支援事業、KSSK開催)

② 関西障がい学生支援担当者懇談会(KSSK)幹事会

5月22日(火)	第21回関西障がい学生支援担当者懇談会の開催について
11月6日(木)	第22回関西障がい学生支援担当者懇談会の開催について

国際事業部

(1) 国際連携事業

【事業計画の概要および実績】

<概要>

「第4ステージプラン」では、大学コンソーシアム京都が取り組む国際連携事業として、①留学生と日本人学生の相互交流の促進、②留学生受入れ体制の強化、③学生の海外派遣、④グローバル化に対応した大学教職員の育成を主な柱として掲げている。

①留学生と日本人学生の相互交流促進・②留学生受入れ体制の強化

2015年度から、大学コンソーシアム京都が事務局となり、加盟大学、日本語学校・専修学校等の教育機関、企業、関係業界団体、関係公的機関等による「留学生スタディ京都ネットワーク」を設立し、「大学のまち・学生のまち・京都」の海外への情報発信、留学生誘致に取り組むほか、留学生と日本人学生の相互交流促進や住宅支援、文部科学省からの委託を受けた就職支援等の留学生受入れ強化にも力を入れている。(詳細については(2)～(5)を参照)

③学生の海外派遣

2018年度も引き続き単位互換を利用した豪州メルボルン(龍谷大)への派遣を行うとともに、2016年度に新規開講した日本人学生向け事業「英語で京都をプレゼンテーション」について、レベル分けした形で実施する。併せて、語学習得支援や留学説明会等により、加盟校学生の留学促進を目指す。

④グローバル化に対応した大学教職員の育成

継続実施している京都の加盟大学教職員向け英語スキルアップ研修について、内容の充実を図りながら今年度も実施する(計6回実施)。

【実施スケジュール(主要事項)】

4月4日	教職員対象英語スキルアップ研修 募集開始
4月10日	英語で京都をプレゼンテーション(上級編) 募集開始
4月26日	龍谷大学国際学部主催 オーストラリアプログラム留学説明会 プレゼンテーション(学生33名参加)
5月19日	英語で京都をプレゼンテーション(上級編) 講義開始(～6/30、全6回) (28名参加)
6月17日	TOEFL iBT テストスキルアップセミナー(21名参加)
7月14日	教職員スキルアップセミナー①(TOEIC Listening & Reading 攻略セミナー)(22名参加)
7月21日	教職員スキルアップセミナー②(Active Learning for English-speaking Classroom)(10名参加)
7月28日	教職員スキルアップセミナー③(Telephoning and Emails)(19名参加)

8月31日	IELTS Pretesting（模擬試験）（36名参加）
9月8日	教職員スキルアップセミナー④（Cross-cultural Manners and English Communication in Higher Institution）（15名参加）
9月22日	教職員スキルアップセミナー⑤（Everyday Communication）（17名参加）
9月29日	教職員スキルアップセミナー⑥（Meeting and Discussion）（19名参加）
10月～1月	単位互換派遣プログラム（メルボルン）オリエンテーション（計4回）
10月25、26日	世界銀行アフリカ高等教育支援プログラム・スタディーツアー
10月27日	英語で京都をプレゼンテーション（中級編）講義開始（～12/1、全5回）（12名参加）
11月25日	IELTS ライティング&スピーキングセミナー（23名参加）
12月13日	留学帰国生の就職活動支援研修（50名参加）
2月9日	単位互換派遣プログラム（メルボルン）出発（19名参加、3月10日帰国）
3月29日	ペアラメンタリー（即興型）英語ディベート体感セミナー（83名参加）

（２）留学生スタディ京都ネットワーク事業

【事業計画の概要および実績】

<概要>

2015年度から京都地域における留学生（外国人研究者を含む。以下同じ）の誘致、受入体制の整備や、留学生の知識・経験を地域の国際化や活性化に活かすための仕組みづくりをオール京都で推進し、「大学のまち・学生のまち」としての京都の魅力向上を図るため、加盟大学、日本語学校・専修学校等の教育機関、企業、関係業界団体、関係公的機関等による「留学生スタディ京都ネットワーク」を運営している（2018年4月現在、100機関が加盟）。

2018年度については、「平成30（2018）年度留学生スタディ京都ネットワーク総会」で承認を得た下記の事業を実施する。

1 「留学先・学びのまち」としての認知度の向上

- 京都留学総合ポータルサイトの運営
- 留学生PRチームの運営
- 留学生による動画コンペ
- 海外教育旅行向け支援メニューの提供
- 「留学先としての京都」のブランド力測定手法等の検討

2 各大学・日本語学校の誘致活動等の支援

- 海外での京都留学フェア等の開催（香港、バンコク）
- 日本語学校における進学説明会の実施（◎試行実施）
- 京都留学ガイド「STUDY KYOTO」の活用
- 会員向けセミナー・交流会の開催

3 留学生受入環境の整備

- 留学生向け有給インターンシップの実施
- 留学生のための住宅情報サイトの運営

- 留学生向け就職支援事業の連携促進
- 留学生満足度向上ワーキング(仮称)の設置と運営 (㊤新規)

【実施スケジュール（主要事項）】

4月12日	大学・学校向け留学生対象就業支援事業説明会（17名参加）
4月18日	留学生向け有給インターンシップ参加留学生募集開始
4月24日	平成30年度「留学生スタディ京都ネットワーク」総会・情報交換会
5月9、17、31日	留学生向け有給インターンシップガイダンス（104名参加）
6月2日	留学生向け有給インターンシップ交流会（留学生76名、企業18社参加）
6月29日	教育旅行支援・香港4高校の教師への京都留学説明（8名参加）
6月30日	留学生ショートムービーコンテスト応募開始
7月3日	教育旅行支援・香港ラ・サール高校（33名参加）
7月12日	外国人留学生の在留審査手続きの申請取次に係る研修会（81名参加）
7月17日	教育旅行支援・アジアビジネス研修プログラム（中国）（36名参加）
7月18日	留学生スタディ京都ネットワーク 第1回留学生満足度向上ワーキング
7月19日	留学生ショートムービーコンテストキックオフ交流会（33名参加）
7月27日	日本語学校における進学説明会①（留学生37名、大学5校参加）
8月2日	留学生スタディ京都ネットワーク 第1回プロモーションワーキング
8月24日	日本語学校における進学説明会②（留学生37名、大学5校参加）
9月8-9日	韓国での日本留学フェア出展（釜山57名、ソウル105名参加）
9月14日	日本語学校における進学説明会③（留学生29名、専門学校2校、企業2社参加）
9月21日	会員向けセミナー（留学生の誘致及び満足度向上に向けた取組）（29名参加）
9月29-30日	インドネシアでの日本留学フェア出展（スラバヤ104名、ジャカルタ114名参加）
10月6-7日	ベトナムでの日本留学フェア出展（ホーチミン170名、ハノイ180名参加）
10月11-14日	京都国際映画祭2018における留学生ショートムービー上映
10月22日	教育旅行支援・インド・アッサム大学教員団（22名参加）
10月22-26日	北京・西安の大学等での京都留学説明会（訪問校11校から約700名参加）
10月31日	教育旅行支援・14私立大学学長・教育機関庁担当者（インドネシア）（30名参加）
11月6日	教育旅行支援・香港天主教グループ高校教員団（香港）（7名参加）
11月14日	留学生向け有給インターンシップ成果報告会・交流会
11月15日	留学生スタディ京都ネットワーク 第2回プロモーションワーキング
11月21日	教育旅行支援・韓国桂園芸術大学（韓国）（12名参加）
11月24-25日	香港での京都留学フェア（623名参加）、マカオでの日本留学フェア（366名参加）
11月29日	留学生ショートムービーコンテスト最終審査会・授賞式・交流会
12月4日	留学生スタディ京都ネットワーク 第2回留学生満足度向上ワーキング
12月7日	日本語学校における進学説明会④（留学生97名、大学9校・専門学校4校参加）
12月8・11日	東映太秦映画村における留学生ショートムービー作品応募者ツアー

12月11日	教育旅行支援・中国教育国際交流協会日本研修団（中国）（21名参加）
12月21日	留学生スタディ京都ネットワーク 第1回運営委員会
1月11日	教育旅行支援・西安欧亚学院（中国）（12名参加）
1月23日	会員向けセミナー（留学生に対する災害時における緊急時に必要なやさしい日本語）（36名参加）
2月26日	留学生スタディ京都ネットワーク 第3回プロモーションワーキング
3月2日	タイ（バンコク）での京都留学フェア
3月13日	留学生スタディ京都ネットワーク 第3回留学生満足度向上ワーキング
3月15日	留学生スタディ京都ネットワーク 第2回運営委員会

（３）短期留学受入事業

【事業計画の概要および実績】

<概要>

「大学のまち・学生のまち・京都」の魅力を伝え、京都の大学への留学につなげるため、2014年度事業として、京都市と協働で大学での講義、文化・交流プログラムなどからなる2週間の短期受入れプログラムの開発を行い、2015年度から留学生受入れを開始した。2018年度については、2019年1月から受入れプログラムを実施した。

【実施スケジュール（主要事項）】

8月	募集開始
12月6日	短期留学受入プログラム第一回運営委員会
1月20日-2月2日	プログラム実施
3月6日	短期留学受入プログラム第二回運営委員会

（４）留学生支援事業（京都地域留学生住宅支援制度）

【事業計画の概要および実績】

<概要>

「京都地域留学生住宅支援制度」については、当財団がその事務局を担い、委員会開催、会員証発行、包括契約書締結、機関保証事務、事故対応等の業務（通年）を行ってきた。しかしながら近年各学校において、住宅保証会社を利用する動きが盛んになり、本事業の利用学校が極めて限られた状態になっている。こうした動きを踏まえ、2017年度に本事業利用大学等によるワーキングを設置し、本事業の将来的な廃止も視野に入れた検討を行い、2018年4月の委員会において、2018年度末での新規入会停止及び現在会員の留学生は2019年度以降も会員資格を継続すること等を確認した。また、2019年4月以降は、支援機構加盟校の留学生を対象とした保証会社のプランを利用できるよう調整を行う。

【実施スケジュール】

4月27日	第一回委員会開催
-------	----------

（５）留学生就職支援・交流コミュニティ運営事業

【事業計画の概要および実績】

＜概要＞

文部科学省が2015年度から実施する「住環境・就職支援等留学生の受入れ環境充実事業」の採択を受け、大企業志向の強い留学生の就職にかかる選択肢拡大を図るとともに、地元企業の国際化を支援する観点から、留学生に「京都を学び、地元産業を深く理解し、地元企業を志向する」プロセスを提供する就職支援・交流コミュニティ「KyoTomorrow Academy」を立ち上げることにより、①留学生の地元への就職を支援し、定着を促進するモデルを構築することにより、留学生が多様な就職機会に出会える環境を整える。

また、留学生の採用に当たっては、多くの企業が留学生に高い日本語能力を求めており、日本語がネックとなって就職活動に困難を感じる留学生が多い実情から、上記の地元企業への就職を志向する仕組みと併せて、②日本語学校との連携により、就職活動に必要な日本語支援を行うプログラム開発に取り組み、留学生の就職活動の円滑化を支援する。

さらに、上記コミュニティ参加者をはじめ、京都で学ぶ現役留学生による「留学生PRチーム」の運営により、③学生の目線に立った海外向け情報発信に取り組むなど、留学生誘致・支援に関する幅広い取組を展開する。

【実施スケジュール（主要事項）】

4月1日	今年度参加者募集開始
4月17日	観光業・サービス業における留学生採用セミナー（48社から66名参加）
4月～3月	就活チーム Career Café Compass 活動開始（月1回開催・全11回52名）
4月25日	KTA オリエンテーション（7名参加）
5月10日	留学生向けビジネス日本語講座～面接対策～（10名参加）
5月12日	企業体験プログラム Company Visit（Huber, Inc）（14名参加）
5月16日	留学生向けビジネス日本語講座～面接対策～（7名参加）
5月22日	留学生・企業向け採用セミナー・交流会（留学生35名、企業22社参加）
5月26日	BN2 ウェルカムセッション（6名参加）
5月29日	KTA オリエンテーション（10名参加）
6月～1月	BN2 日本語アクティビティ活動開始（月2回開催・全13回128名）
6月22日	KTA オリエンテーション（5名参加）
7月4日	留学生向け京都の観光業界・就職面談会（留学生78名、企業17社参加）
8月8日	企業体験プログラム Company Visit（松栄堂）（6名参加）
9月21日	留学生企業交流会（留学生53名、企業12社参加）
10月14日	日本語スタディグループ BN2 企画 芋掘り体験（留学生29名参加）
10月17日	留学生対象合同企業説明会（京都いいな合説）（留学生23名、企業21社参加）
11月20日	留学生・企業セミナー、交流会（留学生35名、企業38社参加）
11月～1月	就活のためのビジネス日本語講座（全4回34名参加）
12月1日	京都ジョブ博「KYOTO ジョブフェア」（留学生24名）

12月12日	企業体験プログラム Company Visit（生田産機工業㈱）（留学生4名参加）
12月19日	KTA プレゼンテーション大会（留学生14名、企業等4名参加）
2月1日	留学生企業交流会グローバル人財セミナー（留学生50名、企業等4名参加）
2月2日	企業体験プログラム Company Visit（㈱美十）（留学生19名参加）
3月20日	外国人留学生 JOB FAIR（留学生163名参加）

各種委員会等の開催について

（１）国際連携事業

① 国際事業部運営委員会

- 7月10日（火） 第一回会議
- 11月7日（水） 第二回会議
- 3月15日（金） 第三回会議

（２）留学生スタディ京都ネットワーク事業

① 留学生スタディ京都ネットワーク運営委員会

- 12月21日（金） 第一回会議
- 3月15日（金） 第二回会議

（３）短期留学受入事業

① 短期留学受入プログラム運営委員会

- 12月6日（木） 第一回運営委員会
- 3月6日（水） 第二回運営委員会

（４）留学生支援事業（京都地域留学生住宅支援制度）

① 京都地域留学生住宅支援制度運営委員会

- 4月27日（金） 第一回会議

調査・広報事業部

(1) 調査企画事業

【事業計画の概要および実績】

<概要>

2018年度は第4ステージ（2014-2018年）の最終年度にあたる。2017年度に設置した大学政策委員会での議論を踏まえ、計画策定部会を設置し、2019年度から2023年度までを計画期間とする次期中期計画「第5ステージプラン」を策定した。広報事業では、加盟校のプロモーションに資する取組として、京都学生広報部の活動の定着化とより一層の活性化に向け、ウェブサイト「コトカレ」における情報発信や中高生への情報波及力を高める事業にも積極的に取り組んだ。また、都市政策事業、地域連携事業についても、事業開始から14年以上が経過し、加盟校における事業の浸透と取組の定着化が図られてきた。これまでの取組実績やノウハウをより一層広めるため、新たに「大学×地域連携ポータルサイト」の立ち上げなど、制度の充実と事業の活性化に取り組んだ。

1 財団指定調査課題

2018年度は、財団指定調査課題の設定は行わない。調査事業企画検討委員会において、2019年度の指定調査課題の検討を行い、「第5ステージ（2019-2023年度）における財団の果たすべき役割」を調査研究方針として、2テーマを設定し、以下の委託者を選定した。

(1) 公募テーマ等

テーマ1「京都のリカレント教育のあり方と、加盟校および財団における取組の推進について」

テーマ2「各種SD研修修了生及び受講生の成長追跡調査と今後の体系的なSD研修のあり方について」

(2) 調査研究費について

1件につき150万円（上限額）

(3) スケジュール

2018年9月5日	次長会議（テーマ検討依頼）、テーマ検討
11月29日	第1回調査事業企画検討委員会（テーマ検討・決定）
12月12日	運営委員会（テーマ・募集方法等を上程）
12月13日	研究者募集開始
2019年2月1日	研究者募集締切
2月6日～2月14日	書類審査
2月19日	書類審査結果通知
3月6日	プレゼンテーション審査（第2回調査事業企画検討委員会）
3月13日	運営委員会（研究者決定の報告）
3月14日	最終結果通知
4月	調査研究開始

2 「共通指標」に基づく財団基礎データの収集

2016 年度から全事業（協働事業を除く）で「共通指標」に基づく量的、質的データの収集を開始。

2018 年度は、2016 年度から 2018 年度の 3 年間のデータを集約し、2019 年度の加盟校への公開に向けた検討を行った。

※ 2016 年度：44 事業からデータ提供

※ 2017 年度：38 事業からデータ提供

3 次期中期計画策定

(1) 財団次期中期計画について

財団では 5 年ごとに、財団の目指すべき方向性や事業のあり方についてまとめた「ステージプラン」を策定し、事業運営の指針としてきた。「第 4 ステージプラン（2014～2018 年度）」の最終年度に当たる今年度は、2017 年度の検証を踏まえ、新たに設置する次期ステージプラン策定部会を中心に具体的な検討を行った。

部会での検討を踏まえ、大学政策委員会において、2019 年度以降に財団が取り組むべき事業方針等を取りまとめ、2019 年 1 月 26 日開催の理事会に「第 5 ステージプラン」を答申し、3 月に策定した。

■2018 年度スケジュール

月	概要
5 月 9 日	第 1 回大学政策委員会幹事会 ・第 1 回大学政策委員会検討事項等の確認
5 月中旬～6 月中旬	次期計画策定に係る加盟校説明の実施
6 月 13 日	第 1 回大学政策委員会 ・次期ステージプラン策定部会の設置承認 ・次期計画案の説明
7 月 11 日	第 1 回次期ステージプラン策定部会 ・次期計画案の検討
9 月 12 日	第 2 回次期ステージプラン策定部会 ・次期計画案の検討
10 月 10 日	第 2 回大学政策委員会 ・次期計画案の進捗報告
11 月 14 日	第 3 回次期ステージプラン策定部会 ・次期計画案の最終確認
12 月 5 日・6 日	加盟校との意見交換会
12 月 12 日	第 3 回大学政策委員会 ・答申案の確認
1 月 26 日	理事会 ・「第 5 ステージプラン（案）」を答申
3 月	「第 5 ステージプラン」の策定

(2)「大学のまち京都・学生のまち京都推進計画」について

京都市の大学政策の指針となる、「大学のまち京都・学生のまち京都推進計画」を京都市と財団が協働し策定している。現行計画の最終年度に当たる 2018 年度は、大学のまち京都・学生のまち京都推進会議（通称：推進会議）において、2019 年度以降の次期計画の策定に向けた検討を行った。当財団の次期中期計画と同時期に策定することから、相互に連携を図った。

■2018 年度スケジュール

月	概要
4月12日	柱ごとの計画策定部会 ・柱別（柱 1、5）の具体的な取組についての検討
4月19日	柱ごとの計画策定部会 ・柱別（柱 2）の具体的な取組についての検討
4月26日	柱ごとの計画策定部会 ・柱別（柱 3）の具体的な取組についての検討
9月14日	第 1 回推進会議 ・次期計画に掲げる具体的な取組について
11月8日	第 1 回計画策定部会 ・次期計画素案、パブリックコメント案作成
11月20日	第 2 回推進会議 ・次期計画素案、パブリックコメントの実施について
2月19日	第 2 回計画策定部会 ・次期計画素案取りまとめ、パブリックコメント反映
2月28日	第 3 回推進会議 ・次期計画最終案

4 京都 B & S プログラム

京都市、JTB との共同事業。京都に来る修学旅行生を対象に「大学のまち京都」の魅力を発信するとともに、当該事業に参加した大学生の成長の分析を併せて行った。（2014 年度開始事業）

2016 年度 【受入実績】23 校 3,064 名

2017 年度 【受入実績】26 校 2,914 名

2018 年度 【申込状況】31 校 4,047 名

(2) 広報事業

【事業計画の概要および実績】

<概要>

第 4 ステージプランの策定にあたっての加盟校アンケート・ヒアリングで、財団事業の認知が不十分であることが明らかになった。広報事業では、①財団ウェブサイトと SNS (facebook) 等による財団事

業の発信機能強化、②京都市との協働事業として 2015 年度に創設した「京都学生広報部」が運営するサイト「コトカレ」の充実と情報発信力の強化を主要事業として引き続き取り組んだ。

1 財団ウェブサイト・SNS の運用

2017 年度アクセス実績の解析・状況分析を実施し、アクセス数の増加、情報発信力の強化を図った。

2 会報等の発行

- (1) 財団紹介用パンフレット（Information）の更新、発行（年 1 回）※2018 年 6 月 12 日発行
- (2) 会報の次号を 2019 年度発行の 25 周年記念誌とするため、2018 年度は未発行とした。

3 京都学生広報部

「大学のまち京都・学生のまち京都」の魅力を、京都の大学生たちが全国の中高生に発信することを目指し、2015 年 9 月に創部、10 月に専用 WEB サイト「コトカレ」を開設。2018 年度は、引き続き京都市及び運営支援を委託する日本ディレクション協会・クリエイター育成協会と協働で学生部員への支援を行い、ターゲット層である中高生との交流や、中高生にとって魅力あるコンテンツを制作し、中高生の読者の増加に向けた取組を展開した。

(1) 概要

- ① 開設年度：2015 年 9 月 ※京都市との協働事業
- ② 部員数：81 名（14 大学：2019 年 3 月時点）

大学・短期大学名	部員数	大学・短期大学名	部員数
京都大学（内 大学院生 1 名）	8	京都橘大学	2
京都工芸繊維大学	2	京都美術工芸大学	3
京都府立大学	1	同志社大学	26
福知山公立大学	1	同志社女子大学	4
京都外国語大学	1	佛教大学	1
京都産業大学	7	立命館大学	7
京都女子大学	16	龍谷大学	2

③ 公開記事数及びページビュー数

	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度※
公開記事数	105 件	66 件	131 件	165 件
ページビュー数	75,210	159,969	423,579	678,031

※1 月末時点

④ 月間ページビュー数(閲覧数)

年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
2017	16,696	18,224	22,178	17,490	13,658	53,725	35,403	55,754	47,776	39,014	43,177	60,484	423,579
2018	66,110	56,409	45,710	43,608	48,846	69,302	53,783	84,633	44,971	42,552	54,057	68,050	678,031

(2) 主な事業

① 研修事業

トップクリエイターを講師に迎え、広報部員のスキルアップを目的とした研修を実施。

- ・第1回「トップクリエイターと京都の魅力を考えるワークショップ」

講師：株式会社 P00L 小西利行氏

- ・研修会2「記事作成について」

講師：中村健太氏（株式会社レッジCMO・ディレクション協会 会長）

- ・研修会3「愉しく働く大人になる」

講師：夏生さえり氏（ライター・エッセイスト）

- ・研修会4「Leaf に学ぶ編集のコツ」

講師：加藤純子氏（「Leaf」編集制作局 局長）

② 中高生・企業等との共同事業（2018年8月25日開催）

- 1) 京都学生広報部 presents! 「コトコレ in SUMMER」～大学生ファッションまるっとお任せ！

広報部主催の初の高校生企画として開催。中高生に人気の「ファッション」をテーマに、現役高校生モデルの浦西ひかる氏による講演や各大学の大学生あるあるファッションをパネル展示。（参加者：中高生23名）

- 2) ベース縁日 in 京都（2018年10月14日開催）

毎年11月11日「ベースの日」に開催される「THE BASS DAY LIVE」の関連企画。

嵐山の法輪寺において、中高生や大学生に本物の音楽に触れる機会として初めて京都で開催。広報部が当日のブースや著名なベーシスト達への取材など企画協力を行った。

③ 部員募集等

年度当初に研修会と合わせた大規模な部員募集説明会を実施。

2018年度は39名が入部し、1月現在14大学・計81名の部員が在籍。

【実施スケジュール（主要事項）】

4月18日	部員募集説明会（参加者30名）
5月15日	部員募集説明会（参加者20名）
5月31日	研修会①「トップクリエイターと京都の魅力を考えるワークショップ」（参加者46名） 講師：株式会社 P00L 小西利行氏
8月25日	中高生企画 京都学生広報部 presents! 「コトコレ in SUMMER」～大学生ファッションまるっとお任せ！～（参加者：23名）
9月	「旅するコトカレ」スタート（全国の中高生との交流事業）
10月	京都学生祭典出店
10月14日	ベース縁日 in 京都（企画協力） ※株式会社 電通とのコラボ企画

- 10月27日 研修会②「記事作成について」
講師：中村健太氏（株式会社レッジ CMO・ディレクション協会 会長）（参加者：13名）
- 10月27日 京都学生広報部 懇親会
- 11月2日 研修会③「愉しく働く大人になる」
講師：夏生さえり氏（ライター・エッセイスト）（参加者：33名）
- 12月14日 京都学生広報部アワード
- 1月17日 研修会④「Leaf に学ぶ編集のコツ」
講師：加藤純子氏（「Leaf」編集制作局 局長）（参加者：24名）
- 3月28日 研修会⑤「カメラ研修」
講師：プロカメラマン 中島隆之氏（参加者：17名）

（３）都市政策研究推進事業

【事業計画の概要および実績】

<概要>

「大学のまち京都」として、大学の知が集積する京都の地域的特性を活かし、京都のまちの魅力向上を目指した政策研究や学生による研究成果発信の場の提供等を行う。

1 京都から発信する政策研究交流大会

本大会は、キャンパスプラザ京都を拠点に学生に政策研究の成果発信の場を提供し、日頃の活動の成果の発表を通じて交流を深め、都市政策に活かすことを目的に 2005 年度から毎年開催している。

【2018 年度 最終発表者数】

	口頭発表	パネル発表	合計
学部生	51 (86)	17 (14)	68 (100)
院生	4 (5)	0	4 (5)

() 内は応募者数

【実施スケジュール（主要事項）】

- 4月20日 第1回都市政策研究推進委員会
- 5月18日 第1回都市政策研究推進委員会 交流大会検討チーム会議
- 7月1日 発表者募集（～10月20日）及び事前説明会（参加者：23名）
- 9月14日 第2回都市政策研究推進委員会
- 11月2日 第2回都市政策研究推進委員会 交流大会検討チーム会議
- 11月18日 発表者向け説明会
- 11月30日 第3回都市政策研究推進委員会
- 12月16日 京都から発信する政策研究交流大会
- 2月15日 第4回都市政策研究推進委員会

◆第 14 回実行委員構成人数 : 9 人 (前年度 : 16 人)

大学・短期大学名	本年度
京都大学	2
京都府立大学	1
京都橘大学	1
同志社大学	1
佛教大学	1
立命館大学	1
京都産業大学	2

1. 主な事業

① 第 2 回都市政策研究推進委員会 交流大会検討チーム会議 (11 月 2 日)

「第 14 回京都から発信する政策研究交流大会」における口頭発表およびパネル発表者の発表資格者を論文審査にて決定した。(口頭発表 : 学部 51 件、大学院 4 件 / パネル発表 17 件)

② 発表者向け事前説明会 (11 月 18 日)

キャンパスプラザ京都にて「第 14 回京都から発信する政策研究交流大会」発表者を対象に事前説明会を開催した。昨年受賞者 (京都市長賞) の講演、パネル展示 (大学コンソーシアム京都理事長賞) を行った。また、今年度の学生企画として参加者から「若者の住みたいまち A to Z」についてキーワードと文章を募集し、参加者同士で交流を図った。

③ 第 3 回都市政策研究推進委員会 (11 月 30 日)

「第 14 回京都から発信する政策研究交流大会」の運営について、最終確認を行った。

④ 「第 14 回京都から発信する政策研究交流大会 (12 月 16 日)

2. 大会の概要

①日 程 2018 年 12 月 16 日 (日) 10_時 00 分～17 時 20 分

②会 場 龍谷大学 深草キャンパス 和顔館

③運営体制 計 56 名 ※事務局 (調査・広報事業部) 8 名含む

④研究奨励賞受賞者一覧

賞名	部門	発表題目	区分	団体名	所属大学名
京都市長賞	口頭発表 (学部)	カテイ×カテイ ー空き家から未来をつくるー	団体	F230	京都文教大学
		個店の魅力創造と地域ネットワーク構築を目指して-C'mon baby 新町-	団体	プロジェクト S	京都府立大学
京都府知事賞	口頭発表 (大学院)	風環境から見た京都市の景観政策における高さ規制の評価	団体	有働 薫	立命館大学 大学院
大学コンソーシアム京都 理事長賞	パネル発表	主権者教育の現状と政策評価ゲームによる新展開	団体	2 回生 窪田ゼミ	京都府立大学

賞名	部門	発表題目	区分	団体名	所属大学名
日本公共政策学会賞	論文	子ども食堂と子どもの関係構築についての考察～茨木市での活動を通して～	団体	子ども食堂グループ	立命館大学
	論文	風環境から見た京都市の景観政策における高さ規制の評価	個人	有働 董	立命館大学大学院
優秀賞	口頭発表	観光による地域存続のための基盤づくり	団体	今里ゼミナール	龍谷大学
		京都におけるロードプライシング政策の検証	団体	風間ゼミ ロードプライシング班	同志社大学
		次世代への祭りの伝統継承 ー京都府南丹市美山町上げ松の事例ー	団体	大谷ゼミ 美山班	佛教大学
		どうすれば地域交流施設は活性化されるのか - 京都市北区千本地域「高齢者ふれあいサロン」の取り組みを通じて -	団体	大東ゼミ フラキタほっこりひろ まグループ	佛教大学
		京都市の生ごみはゼロになり得るか ～「食」の大量廃棄における循環型社会への構築～	団体	深尾ゼミナールC	龍谷大学
	口頭発表	日本型雇用慣行下における女性の活躍について - 地方自治体における人事評価制度に注目して -	団体	上久保ゼミ 女性の社会進出班	立命館大学
		地域企業と学生のための奨学金	団体	阪本ゼミ	京都橘大学
	パネル発表	高齢運転者支援に関する研究 ～免許返納前後に焦点を当てて～	団体	井上ゼミナール	龍谷大学
		空き家若者学童保育	団体	新川チーム	同志社大学
		京都市バスの利便性向上に向けて	団体	新川ゼミ チームリョージ	同志社大学

3. 実績

①大学別発表者

大学名	第 14 回 (2018)		第 13 回 (2017)		第 12 回 (2016)	
	口頭	パネル	口頭	パネル	口頭	パネル
京都大学	(1)	0	2 (1)	0	3 (3)	0
京都府立大学	2 (1)	1	3	1	4	1
福知山公立大学	1	2	1	0	—	—
京都学園大学	0	0	0	0	0	0
京都産業大学	7	1	1 3	3	6	6
京都女子大学	0	0	1	0	0	0
京都橘大学	3	0	2	1	5	0
京都文教大学	1	0	2	0	0	1
同志社大学	1 0	5	6	4	4	4
佛教大学	8	2	9	3	1 1	3

大学名	第14回(2018)		第13回(2017)		第12回(2016)	
	口頭	パネル	口頭	パネル	口頭	パネル
立命館大学	10(2)	5	8(1)	3	22(5)	3
龍谷大学	9	1	9	1	10	0
計	55	17	56(2)	16(0)	65(8)	18(0)

※()内は大学院生の数 ※今年度参加10大学

② 来場者数の推移

第14回	第13回	第12回	第11回	第10回	第9回	第8回
392	352	423	451	377	362	317
第7回	第6回	第5回	第4回	第3回	第2回	第1回
410	545	524	420	632	149	238

来場者数：発表者、一般聴講者（学生実行委員、職員、審査員は除く。）の合計

（４）地域連携事業

【事業計画の概要および実績】

<概要>

本財団では、従来から京都のまちの発展、活性化を目指し、加盟校が有する知と人材、学生の活力を生かした地域との連携事業を京都市と連携し実施している。

1 大学地域連携創造・支援事業（愛称：学まちコラボ事業）

大学の求める人材育成に資する実践的教育・研究機会の確保と地域ニーズに基づき、大学の知や学生の活力を生かした地域課題の解決や地域活性化を目的とし、大学と地域との連携による取組に対し助成金を交付し、学生の学びと成長を支援している。

2018年度は「文化枠」「一般枠」の応募要件の緩和を図ることで、大学・学生と地域との協働・連携による文化的な取組の一層の促進を図る。引き続き、大学と地域の連携した取組を更に広げるため、大学への積極的な広報活動を行い、新規の団体の参加促進にも注力した。

【2018年度応募状況】

申請件数：31事業（一般枠：27事業、文化枠：4事業）

採択件数：19事業（一般枠：17事業、文化枠：2事業）

【2018年度スケジュール】

4月3日～5月11日 募集期間

5月12日～6月上旬 書類選考

6月8日 第一次選考会

6月24日 第二次選考会（公開プレゼンテーション審査会）

7月3日	認定式
10月30日	第3回選考委員会
2019年2月15日	第4回選考委員会
3月24日	事業報告会・交流会

2 大学・学生と地域による京都のまちづくり事例集

本事業では、大学・学生と地域との連携・協働を促進することを目的に、大学・学生による地域活動事例等を財団ホームページで紹介している。

2018年度は、加盟校における多様な地域連携の活動事例を発信するため、新たに専用WEBサイトを開設し、2019年度当初の運用開始に向け、取材等を実施した。

3 「学まち連携大学」促進事業

地域社会との関わりの中で得られる学生の学びと成長の機会を創出する取組を、大学の組織的な取組として定着させることを目的に、地域と連携した実践的な教育プログラムの開発・実施に取り組む6大学に補助金（2019年度までの最大4年間）を交付し、取組を支援している。

2018年度は、取組の3年目に当たることから、7月28日に選定委員会による中間評価を実施し、取組状況の確認と、今後の活動の活性化に向け、質疑等を行った。中間評価の結果は財団ホームページで公表するとともに、12月2日開催の「大学・地域連携サミット」において報告を行った。

「学まち連携大学」促進事業 採択大学及び採択事業

大学名	申請事業名
大谷大学	北区・北大路地域を中心とした大学・地域連携事業
京都教育大学	「京都に学ぶ・京都を発信する」をサポートするプチコンテンツ・セルフガイド制作
京都女子大学	「地域系女子養成プログラム（副専攻）」の構築 —地域社会を支える女性リーダーの養成をめざして—
京都橘大学	山科・醍醐地域で「育ちあう・響きあう」地域連携型教育プログラム
同志社女子大学	京町家の中核とした未来の京都まちづくりプログラム
龍谷大学	多世代・多文化協働による地域連携型教育プログラムの展開—学生と地域が共に学びあう「コミュニティベースドラーニング」の実現をめざして—

4 大学・地域連携サミット

学まちコラボ事業や各区のまちづくり支援事業を含めた大学・地域連携事例を広く発信するとともに、大学・地域連携活動に関わる学生や大学関係者、地域団体等が交流する機会を創出するため、「大学・地域連携サミット」を京都市と協働で2016年度から開催している。

【2018 年度 実施概要】

日時：2018 年 12 月 2 日（日）10：00～13：40

会場：キャンパスプラザ京都 5 階「第 1 講義室」、2 階「ホール」

対象：学生・大学・地域関係者、一般

全体テーマ：「大学のまち京都」から生み出すクリエイティブで持続可能な「まち」のミライ

《第 1 部》

○基調講演：「コミュニティデザインと住み良い都市空間～ポートランドの事例より」

ゲスト：山崎満広氏（元・ポートランド市開発局国際事業開発オフィサー、つくば市
まちづくりアドバイザー、一般社団法人 Creative City Labo 代表理事）

○鼎談、「学まち連携大学」促進事業報告会

テーマ：「大学のまち京都 大学が地域に果たす役割と地域連携の展望」

登壇者：山崎満広氏、深尾昌峰氏（（公財）大学コンソーシアム京都 調査・広報事業部長）

塩野谷和寛氏（京都市 総合企画局総合政策室 大学政策部長）

○「学まち連携大学」促進事業報告会（採択大学）ポスターセッション

《第 2 部》 交流会（ワークショップ）

<実績>

【実施スケジュール（主要事項）】

4 月 3 日 平成 30 年度学まちコラボ事業 申請受付期間（～5/13）

6 月 8 日 平成 30 年度学まちコラボ事業 第 1 次選考会（第 1 回選考委員会）

【申請件数】

30 年度：27 件、29 年度 31 件、28 年度 30 件、27 年度 18 件、26 年度 27 件、
25 年度 33 件

6 月 24 日 平成 30 年度学まちコラボ事業 公開プレゼンテーション審査（第 2 回選考委員会）

7 月 3 日 平成 30 年度学まちコラボ事業 認定式

7 月 28 日 「学まち連携大学」促進事業中間報告会

12 月 2 日 2018 年度大学・地域連携サミット

3 月 24 日 平成 30 年度学まちコラボ事業 事業報告会・交流会

各種委員会等の開催について

(1) 調査企画事業

① 調査事業企画検討委員会

- | | |
|--------|--------------------------|
| 11月29日 | 第1回委員会 |
| | ・2019年度指定調査課題の実施について |
| 3月6日 | 第2回委員会 |
| | ・2019年度指定調査課題プレゼンテーション審査 |

② 大学のまち京都・学生のまち京都推進会議

- | | |
|--------|--------------------------|
| 4月12日 | 柱ごとの計画策定部会 |
| | ・柱別（柱1、5）の具体的な取組についての検討 |
| 4月19日 | 柱ごとの計画策定部会 |
| | ・柱別（柱2）の具体的な取組についての検討 |
| 4月26日 | 柱ごとの計画策定部会 |
| | ・柱別（柱3）の具体的な取組についての検討 |
| 9月14日 | 第1回推進会議 |
| | ・次期計画に掲げる具体的な取組について |
| 11月8日 | 第1回計画策定部会 |
| | ・次期計画素案、パブリックコメント案作成 |
| 11月20日 | 第2回推進会議 |
| | ・次期計画素案、パブリックコメントの実施について |
| 2月19日 | 第2回計画策定部会 |
| | ・次期計画素案取りまとめ、パブリックコメント反映 |
| 2月28日 | 第3回推進会議 |
| | ・次期計画最終案 |

③ 大学政策委員会

- | | |
|-----------|---------------------|
| 5月9日 | 第1回大学政策委員会幹事会 |
| | ・第1回大学政策委員会検討事項等の確認 |
| 5月中旬～6月中旬 | 次期計画策定に係る加盟校説明の実施 |
| 6月13日 | 第1回大学政策委員会 |
| | ・次期ステージプラン策定部会の設置承認 |
| | ・次期計画案の説明 |
| 7月11日 | 第1回次期ステージプラン策定部会 |
| | ・次期計画案の検討 |

9月12日	第2回次期ステージプラン策定部会 ・次期計画案の検討
10月10日	第2回大学政策委員会 ・次期計画案の進捗報告
11月14日	第3回次期ステージプラン策定部会 ・次期計画案の最終確認
12月5日・6日	加盟校との意見交換会
12月12日	第3回大学政策委員会 ・答申案の確認
1月26日	理事会 ・「第5ステージプラン（案）」を答申
3月	「第5ステージプラン」の策定

（2）都市政策研究推進事業

① 都市政策研究推進委員会

4月20日	第1回委員会
5月18日	第1回交流大会検討チーム会議
9月14日	第2回委員会
11月2日	第2回交流大会検討チーム会議
11月30日	第3回委員会
12月16日	京都から発信する政策研究交流大会
2月15日	第4回委員会

（3）地域連携事業

① 学まちコラボ事業（大学地域連携創造・支援事業）選考委員会

6月8日	第1回（主要議題：1次選考）
6月24日	第2回（主要議題：公開プレゼン審査）
10月30日	第3回（主要議題：次年度の課題整理）
2月15日	第4回（主要議題：報告会の実施、次年度の事業募集・採択審査について）
3月24日	成果報告会

② 「学まち連携大学」促進事業選定委員会

7月28日	「学まち連携大学」促進事業中間報告会
-------	--------------------

総務部

（１）総務業務（法人運営・庶務）

<概要>

◆法人運営

（１）機関会議

法人の意志決定を行うため、運営委員会、理事会、評議員会を行い、会員団体への事業報告等の場として会員総会を開催している。（日程、主な議題等については「各種委員会等の開催について」参照）

（２）大学のまち・京都サマーミーティング

大学コンソーシアム京都の事業推進や京都市の大学政策の参考とするとともに、京都の大学と京都市の一層の連携を図ることを目的とし、７月に加盟大学学長と京都市長との懇談会を開催する。

<実績>

７月２１日（土）

大学のまち・京都サマーミーティング 2018

○出席者（全 25 名）

<大学コンソーシアム京都>

評議員会、理事会及び運営委員会を構成する大学の学長（代理の場合は副学長）、専務理事・事務局長

<京都市> 市長、副市長、総合企画局長、大学政策部長

○議題

「これからの「大学のまち京都・学生のまち京都」の推進について」

（２）財務・経理業務

<概要>

本業務は、財団の予算執行管理及び財産の運用などを担当する。

<実績>

６月１日（金）

2017 年度決算監査

10 月～	2018 年度第 1 次補正予算編成作業（1 月理事会上程予定）
11 月～	2019 年度当初予算及び事業計画編成作業（3 月理事会上程予定）
1 月 26 日（土）	2018 年度第 1 次補正予算（案）理事会上程
3 月 23 日（土）	2019 年度当初予算及び事業計画（案）理事会上程及び評議員会報告

（３）研修業務

<概要>

財団職員の力量向上を目指した研究企画の策定・実施を目的とする。2018 年度は総務部が主体となり、以下の研修を実施する予定である。また、各事業部の理解、連携を深めるため、事業部業務説明会を実施し、研修体制の充実を図る。

<実績>

4月3日(火)	4月新規出向者・採用者向けオリエンテーション
5月8日(火)	5月新規出向者向けオリエンテーション
5月16日(水)	事業部業務説明会(教育事業部、調査・広報事業部、総務部)
5月28日(月)	総合防災訓練
6月1日(金)	6月新規出向者向けオリエンテーション
6月20日(水)	事業部業務説明会(教育開発事業部、学生支援事業部、国際事業部)
7月19日(木)	ハラスメント研修
8月29日(水)～31日(金)	SPOD フォーラム 2018(香川大学)
9月1日(土)～2日(日)	大学行政管理学会・研究集会(桜美林大学)
12月15日(土)	財団冬季研修
3月20日(水)	2018年度業務成果報告会(出向満了予定者)

(4) 全国大学コンソーシアム協議会事業

<概要>

本事業では、全国の大学コンソーシアム組織(大学連合体・大学連携組織)からなる協議会組織「全国大学コンソーシアム協議会」の事務局として、運営委員会・総会の開催、協議会予算の執行管理等を行っている。情報交換・交流の場として「全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム」を開催している。

<実績>

○第15回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム(概要)

日 時:【1日目】2018年9月1日(土) 13:00～19:40

【2日目】2018年9月2日(日) 9:30～11:30

会 場:公立はこだて未来大学(北海道函館市)

テーマ:(全体テーマ)「大学連携による学生と地域のエンパワーメント」

～未来の地域づくりを目指して～

プログラム:【1日目】基調講演、シンポジウム、ポスターセッション、情報交換会

【2日目】分科会

	内容	参加人数
	プレイベント 「コンソーシアム運営における課題とその克服に向けて ～課題から紐解くコンソーシアム組織のあり方～」 【ファシリテーター】 田中 邦明 氏(キャンパス・コンソーシアム函館) 森岡 茂雄 氏(学術・文化・産業ネットワーク多摩) 難波 美都里 氏(南大阪地域大学コンソーシアム) 桂 良彦 氏(大学コンソーシアム京都) 渡邊 和親 氏(大学コンソーシアム熊本) 【講評者】 伊藤 嘉瑞 氏(大学コンソーシアム石川) 川野 祐二 氏(教育ネットワーク中国)	27名

1 日 目	基調講演 「大学連携による学生と地域のエンパワーメント～京都アライアンスの経験をふまえて～」 【講演者】 白石 克孝 氏（龍谷大学 政策学部 教授）		215 名
	シンポジウム 「大学連携による学生と地域のエンパワーメント～未来の地域づくりを目指して～」 【シンポジスト】 美馬 のゆり 氏（公立はこだて未来大学 教授） 高橋 和将 氏（函館大学 地域連携コーディネーター） 古舘 葵 氏（ハコレコドットコム株式会社） 白石 克孝 氏（龍谷大学 政策学部 教授）※シンポジウム後半のみ登壇 【コーディネーター】 古地 順一郎 氏（北海道教育大学函館校 准教授）		
	文教行政報告 「高等教育政策の動向について」 【報告者】 三浦 和幸 氏（文部科学省高等教育局 大学振興課長）		
	ポスターセッション（出展 20 団体：企業 1、全国コンソ協議会加盟組織 19）		
	情報交換会（講演者および参加者との情報交換）		
	—		
2 日 目	第 1 分科会	地域ぐるみで行う“子ども・子育て”～未来へ命をつなぐ取組～ （担当：一般社団法人 旭川ウェルビーイング・コンソーシアム）	23 名
	第 2 分科会	「まちづくりは人づくりから」～ネットワーク多摩の新たな挑戦～ （担当：公益社団法人 学術・文化・産業ネットワーク多摩）	27 名
	第 3 分科会	地域と学生が交わり育つ暮らしのカタチを考える ～学生が参画する多世代交流型地域社会から関係人口づくりへ～ （担当：公益財団法人 大学コンソーシアム京都）	34 名
	第 4 分科会	小規模大学コンソーシアムだからできるエンパワーメント事業 （担当：キャンパス・コンソーシアム函館）	46 名
総参加者数			222 名

（５）勤労学生援助会・表彰奨学金事業

<概要>

本事業では、「勤労学生援助会」の事務局として、理事会等の開催・予算の執行管理等を行っている。「勤労学生援助会」では、人物・学業とも他の学生の模範となる学生で、学費や生活費をアルバイト及び奨学金等に頼り、家庭からの援助が皆無に近い学生や、京都地域の社会活動で著しく貢献した学生を表彰し、奨学金を給付している。

<実績>

- 7 月 10 日（火） 通常総会・理事会
- 2 月 1 日（金） 表彰学生選考委員会（主要議題：表彰・奨学金授与学生の選考、他）
- 3 月 8 日（金） 勤労学生表彰・奨学金贈呈式および懇親会

（６）施設管理事業（指定管理）

<概要>

施設管理事業は、京都市から指定管理者として 2015 年度から 4 年間の再指定を受け、キャンパスプラザ京都の管理運営を行うこととなった。引き続き、施設運営に必要な委託業者（受付、警備、清掃、各種インフラ管理等）と連携を図りながら適切な施設管理を行っていく。

＜実績＞

4 月 9 日（月）	保守点検日
4 月 23 日（月）	保守点検日
5 月 7 日（月）	保守点検日
5 月 21 日（月）	保守点検日
6 月 4 日（月）	保守点検日
6 月 18 日（月）	保守点検日
7 月 9 日（月）	保守点検日
7 月 23 日（月）	保守点検日
8 月 6 日（月）	保守点検日
8 月 20 日（月）	保守点検日
9 月 3 日（月）	保守点検日
9 月 10 日（月）	保守点検日
10 月 1 日（月）	保守点検日
10 月 22 日（月）	保守点検日
11 月 5 日（月）	保守点検日
11 月 19 日（月）	保守点検日
12 月 3 日（月）	保守点検日
12 月 17 日（月）	保守点検日
1 月 7 日（月）	保守点検日
1 月 21 日（月）	保守点検日
2 月 4 日（月）	保守点検日（全館停電作業日）
2 月 18 日（月）	保守点検日
2 月 25 日（月）	保守点検日
3 月 4 日（月）	保守点検日
3 月 5 日（火）	2019 年度予約 一斉受付
3 月 18 日（月）	保守点検日
3 月 25 日（月）	保守点検日

各種委員会等の開催について

(1) 総務業務(法人運営)

① 評議員会

- 6月23日(土) 第1回(主要議題:評議員の辞任・選任について)
- 6月23日(土) 第2回(主要議題:2017(平成29)年度事業報告及び決算について 他)
- 12月27日(木) 第3回(主要議題:理事の辞任・選任について) ※書面会議
- 3月23日(土) 第4回(主要議題:2019(平成31)年度 公益財団法人 大学コンソーシアム京都
事業計画及び予算について 他)

② 理事会

- 6月7日(木) 第1回(主要議題:2017(平成29)年度事業報告及び決算について 他) ※書面会議
- 6月23日(土) 第2回(主要議題:理事長、副理事長、専務理事の選任 他)
- 10月18日(木) 第3回(主要議題:運営委員の選任について) ※書面会議
- 12月13日(木) 第4回(主要議題:2018(平成30)年度第3回評議員会の開催について) ※書面会議
- 1月26日(土) 第5回(主要議題:2018(平成30)年度 公益財団法人 大学コンソーシアム京都 補
正予算について 他)
- 3月23日(土) 第6回(主要議題:2019(平成31)年度 公益財団法人 大学コンソーシアム京都 事
業計画及び予算について 他)

③ 会員総会

- 6月23日(土) 報告事項1 2017(平成29)年度 公益財団法人 大学コンソーシアム京都
事業報告及び決算について
※会員総会に引き続き、懇親会を開催

④ 運営委員会

- 4月11日(水) 第1回(主要議題:副運営委員長の選任について 他)
- 5月9日(水) 第2回(主要議題:2017(平成29)年度事業報告及び決算について 他)
- 6月13日(水) 第3回(主要議題:第2回理事会開催について 他)
- 7月11日(水) 第4回(主要議題:運営委員長・副運営委員長の選出について 他)
- 9月12日(水) 第5回(主要議題:平成30年度私立大学等改革総合支援事業(タイプ5)申請につい
て 他)
- 10月10日(水) 第6回(主要議題:2018年度 第3回理事会(書面開催)の議題について 他)
- 11月14日(水) 第7回(主要議題:副運営委員長の選任について 他)
- 12月12日(水) 第8回(主要議題:第4回理事会開催について 他)
- 1月9日(水) 第9回(主要議題:2018(平成30)年度 公益財団法人 大学コンソーシアム京都 補
正予算について 他)

2月13日（水） 第10回（主要議題：大学生グローバルベンチャーコンテスト 2019SSin 京都への共催について 他）

3月13日（水） 第11回（主要議題：2019（平成31）年度 公益財団法人 大学コンソーシアム京都 事業計画・予算について 他）

（2）全国大学コンソーシアム協議会事業

①全国大学コンソーシアム協議会 運営委員会

5月19日（土） 第1回（主要議題：決算・予算・事業計画等）

9月2日（日） 第2回（主要議題：第15回 フォーラム結果・第16回進捗）

2月23日（土） 第3回（主要議題：第16回 全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム（熊本市）について 他）

②全国大学コンソーシアム協議会 幹事会

6月8日（金） 第1回（主要議題：2017（平成29）年度決算、幹事の就任等）※書面会議

3月1日（金） 第2回（主要議題：全国大学コンソーシアム協議会 代表幹事の選任について）
※書面会議

（3）勤労学生援助会・表彰奨学金事業

①勤労学生援助会理事会・選考委員会

7月10日（火） 第1回 理事会・総会（主要議題：事業・決算報告 他）

2月1日（金） 表彰学生選考委員会（主要議題：表彰・奨学金授与学生の選考、他）

3月8日（金） 勤労学生表彰・奨学金贈呈式および懇親会